Compaq Evo Desktop D300 STシリーズ

コンピュータの準備および操作

2

『コンピュータの設置』ポスターをご覧になってからお読みください

COMPAQ

COMPAQ

コンピュータの準備および操作
Compaq Evo Desktop D300 STシリーズ

製品番号：274079-191

2002年2月

このガイドでは、Compaq Evo Desktop D300 STシリーズのハードウェアおよびソフトウェアの初期セットアップ、情報の参照方法、および簡単なトラブルの解決方法について説明します。

© 2002 Compaq Information Technologies Group, L.P.
© 2002 コンパックコンピュータ株式会社

Compaq、Compaq ロゴ、およびEvoは、米国Compaq Information Technologies Group, L.P.の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、およびWindows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のままで提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。コンパック製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

警告: その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

注意: その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

コンピュータの準備および操作
Compaq Evo Desktop D300 STシリーズ
初版 2002年2月
製品番号：274079-191

コンパックコンピュータ株式会社

はじめに

この度はCompaq Evo Desktopシリーズ パーソナル コンピュータをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この説明書には、コンピュータをお使いいただく上で必要な注意事項や問題に直面したときの解決方法などを記載しています。コンピュータの近くに置いてご活用ください。

各マニュアルの読み方

- 『コンピュータの設置』（ポスター）

  コンピュータ本体とモニタやキーボードの接続など、購入後、初めてコンピュータの電源を入れるまでの手順を説明しています。

- 『コンピュータの準備および操作』（本書）

  初めてコンピュータの電源を入れてコンピュータを設定する手順や基本的な操作方法、また、簡単なトラブルが発生したときにチェックしていただきたい項目などについて説明しています。

- 『ハードウェア リファレンス ガイド』（PDF）

  コンピュータのアップグレード方法などについて説明しています。このガイドは、コンピュータに付属のドキュメンテーション ライブラリ CD に PDF 形式のファイルとして収録されています。PDF 形式のファイルを表示したり印刷したりするには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Acrobat Reader はこの CD からインストールできます。

- 『トラブルシューティング ガイド』（PDF）

  コンピュータを使用していて発生する可能性のあるトラブルとその解決方法について説明しています。このガイドは、コンピュータに付属のドキュメンテーション ライブラリ CD に PDF 形式のファイルとして収録されています。PDF 形式のファイルを表示したり印刷したりするには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Acrobat Reader はこの CD からインストールできます。

■ 『快適に使用していただくために』

人間工学に基づいた、コンピュータの安全な使用方法などについて説明しています。キーボードの箱の中に同梱されています。

表記上の規則

このガイドでの表記方法を説明します。

表記例	説明
警告	指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがある警告事項を表します
注意	指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがある注意事項を表します
	補足的な情報を示します
[Ctrl]＋[Alt]＋[Delete]キー	キーボード上のキーは、[ ]で囲んで示します。いくつかのキーを同時に押す場合は、左の例のように＋で続けて表します。左の例は、「キーボードにある[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押してください」という意味です
[OK]ボタン	画面に表示されるボタン名は、[ ]で囲んで示します。左の例では、「OKという文字が表示されているボタン（OK）」を指します なお「（画面上の）ボタンを押す」とは、ボタンの上にマウス ポインタを合わせてマウスをクリックするか、[Tab]キーや矢印キーを使ってボタンを強調表示させてから[Enter]キーを押すことをいいます
	「マウスをクリックする」とは、マウスの左側のボタンを1回押して離すことをいいます。2回続けてクリックすることを「ダブルクリック」といい、マウス ポインタを画面上のある部分に合わせることを「ポイントする」といいます
[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]	画面に表示されるメニュー名やコマンド名は、[ ]で囲んで示します。また、→は順番に選択することを表します。左の例では、「画面上の[スタート]ボタンをクリックし、次に[設定]、さらに[コントロール パネル]の順にクリックしてください」という意味です。クリックではなく、ダブルクリックする場合もあります
C:¥Windows¥hh.exe	ファイルやファイルの場所を示すパスはゴシック体で表します。左の例では、Cドライブの Windowsディレクトリ（フォルダ）にあるhh.exeファイルを表します
DriveLock または「**DriveLock**」	キーボードを使用して入力する文字は太字で表します。文章中では、入力する文字列を「 」で囲んで太字で表します

オペレーティング システムについて

Microsoft® Windows® 2000 Professionalオペレーティング システム（以下「Microsoft Windows 2000」または「Windows 2000」とも表記します）、Microsoft® Windows® XP Professionalオペレーティング システム（以下「Microsoft Windows XP Professional」、「Windows XP Professional」、または「Windows XP」とも表記します）、およびMicrosoft® Windows® XP Homeオペレーティング システム（以下「Microsoft Windows XP Home」、「Windows XP Home」、または「Windows XP」とも表記します）の用語については、コンピュータに同梱のMicrosoft Windowsの説明書をご覧ください。

必ずお守りください

コンピュータをより良い状態で安定してお使いいただくため、以下の注意事項をお読みの上、正しい方法でお取り扱いくださいますようお願いいたします。

また、コンピュータに同梱の小冊子『快適に使用していただくために』も是非ご一読ください。

警告：感電や装置の損傷を防ぐため、コンピュータ本体、ディスプレイ、キーボードなどコンピュータ関連機器に液体が入らないように十分ご注意ください。

警告：感電や装置の損傷を防ぐため、コンピュータの開口部やキーボードのキーとキーとの隙間などに異物が入らないように十分ご注意ください。

コンピュータの設置場所

- コンピュータは、直射日光が当たらず、気温や湿度が低い場所に設置 / 保管してください。極端に低温または高温になる場所に放置しないでください。
- コンピュータ本体やモニタなどの通気孔は絶対にふさがないでください。内部への通気が遮断されると、装置の故障の原因となります。

コンピュータの取り扱い上の注意

- 1週間以上コンピュータを使用しないときは、コンピュータの電源を切っておいてください。
- コンピュータ本体のカバーを取り外したまま使用しないでください。
- コンピュータを使用しているときに、コンピュータ本体を動かしたり衝撃を与えたりしないでください。誤作動することがあります。

コンピュータの手入れ

- コンピュータの表面が汚れた場合は、水で湿らせた柔らかい布で拭いてください。コンピュータの内部に余分な水分が入らないよう十分ご注意ください。

注意：石鹸や洗剤を使うとディスプレイやコンピュータの損傷および変色の原因となります。水では汚れがどうしても取れない場合は、コンピュータ機器専用の洗浄剤以外は使用しないでください。また、市販のコンピュータ機器専用の洗浄剤を使用する際は、注意書きをよく読み、使用方法をお守りください。

目次

はじめに

各マニュアルの読み方 . . . iii
表記上の規則 . . . iv
オペレーティング システムについて . . . v
必ずお守りください . . . vi
コンピュータの設置場所 . . . vi
コンピュータの取り扱い上の注意 . . . vi
コンピュータの手入れ . . . vi

1 コンピュータの各部

前面の各部 . . . 2
背面の各部 . . . 4
マウス . . . 6
マウスの操作 . . . 7
日本語キーボード . . . 8
キー配列 . . . 8
イージー アクセス ボタン . . . 10
チルト脚 . . . 11
日本語入力のヒント . . . 12

2 初回の操作および設定

電源を入れる . . . 15
通常の電源操作 . . . 16
電源ボタンの位置 . . . 17
オペレーティング システムの設定 . . . 18
初期設定時の注意事項 . . . 18
Windows 2000 のセットアップ . . . 20
Windows XP Professional のセットアップ . . . 21
Windows XP Home のセットアップ . . . 22
周辺機器の接続および設定 . . . 24
モニタの設定 . . . 24
ソフトウェアのインストール . . . 29
コラム：ソフトウェアのライセンスについて . . . 30

3 コンピュータの基本操作
電源のオン / オフ 31
電源を入れる 31
電源を切る 31
ハードディスクの内容の復元 34
Windows のツールの使用 34
リストア CD の使用 34
リムーバブル メディアの使用 35
フロッピーの使用 35
CD または DVD の使用 36
ソフトウェアのインストール 38
CD、DVD、またはフロッピーからのインストール 38
インターネット経由でのインストール 39
各種設定の変更方法 40

4 コンピュータの内部コンポーネント
コンピュータの内部コンポーネントへのアクセス 41
コンピュータのメモリのアップグレード 43

5 情報の参照先、トラブルシューティングおよびサポート
情報の参照先 45
ドキュメンテーション ライブラリ CD の使い方 45
インターネットの Web サイト 46
トラブルシューティング 48
コンピュータをトラブルから守るためのヒント 48
チェックリスト 53
コンパックのサポート窓口 58
お問い合わせになる前に 58

索引

トラブル サポートシート

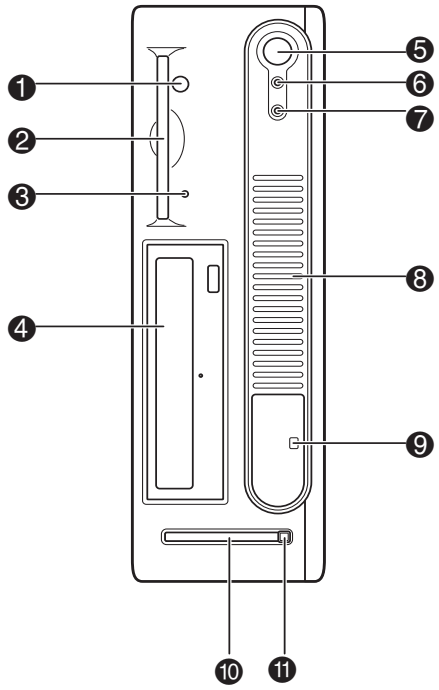
第 1 章
コンピュータの各部

この章では、コンピュータの各部の名称およびその機能について簡単に説明します。

お買い上げいただいたコンピュータのモデルや構成により、取り付けられているドライブの種類や装置またはコネクタの有無が異なります。実機でご確認ください。

1

前面の各部

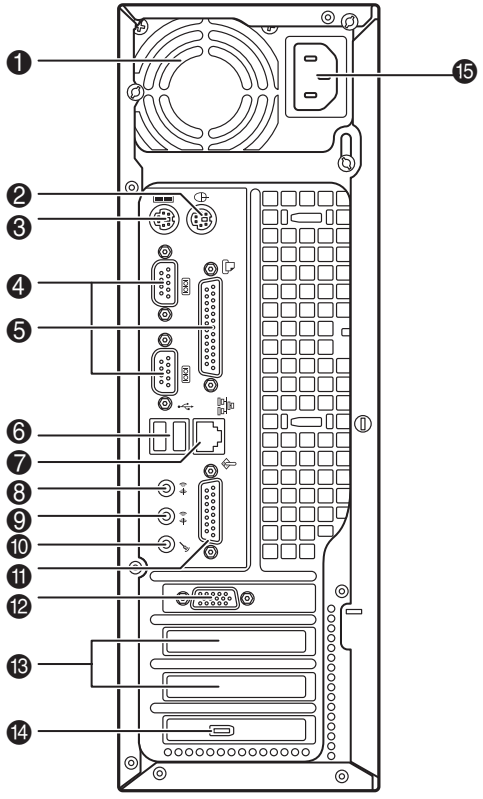


前面の各部

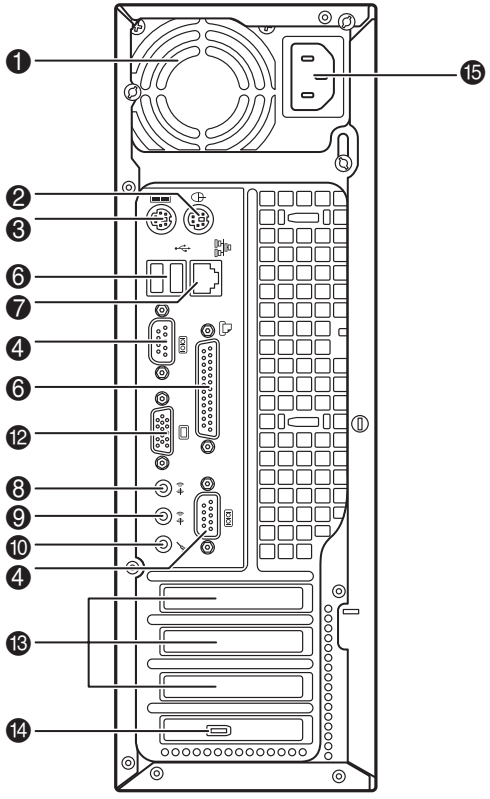
	名称	機能
❶	フロッピーディスク取り出しボタン	フロッピーディスクを取り出すときにこのボタンを押します。
❷	フロッピーディスクドライブ	3.5インチ フロッピーディスク用のドライブです
❸	フロッピーディスクドライブ ランプ	フロッピーディスクへの読み書きを行っているときに点灯または点滅します。ランプが点灯/点滅しているときは、フロッピーディスクを取り出さないでください
❹	オプティカル ドライブ	お買い上げいただいたモデルにより、CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、またはCD-R/RW・DVD-ROMコンボ ドライブが装備されています
❺	電源ボタン	コンピュータの電源を入れるときに押します このボタンを1秒間押し続けるとシステムはスタンバイ モードになり、4秒間押し続けると電源が切れます **通常の状態で電源を切るときはWindowsの終了手順に従って操作してください**
❻	電源ランプ	コンピュータの電源が入っているときに緑色のランプが点灯します
❼	ハードディスク ドライブ アクセス ランプ	ハードディスク ドライブへのアクセス中に緑色のランプが点灯します
❽	通気孔	コンピュータ内部の温度が上がり過ぎないように空気を通します。空気の流れが阻害されることのないように、周囲に障害物を置いたり通気孔を覆ったりしないでください
❾	IEEE 1394コネクタ (一部のモデルのみ)	デジタル ビデオ カメラなど、IEEE 1394対応の機器の4ピン ケーブルを接続します **IEEE 1394搭載モデルでない場合は、この部分にカバーが取り付けられています** **IEEE 1394コネクタに接続する機器は、接続する機器の側で個別に電源を取ってください**
❿	PCカード スロット (一部のモデルのみ)	Type IまたはType IIの32ビット（Cardbus）または16ビットのPCカード用のスロットです **PCカード スロット搭載モデルでない場合は、この部分にカバーが取り付けられています**
⓫	PCカード取り出しボタン (PCカード スロット搭載モデルのみ)	PCカードを取り出すときにこのボタンを押します

1

背面の各部



背面の各部（Penium 4モデル）



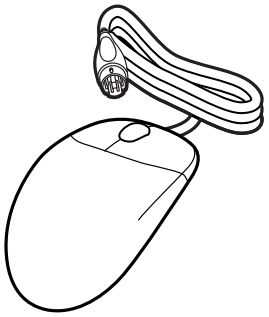
背面の各部（Celeronモデル）

	名称	説明
❶	電源装置用ファン	AC電源装置の温度が上がり過ぎないように空気を循環させるための冷却用のファンです。空気の流れが阻害されることのないように、周囲に障害物を置いたりファンを覆ったりしないでください
❷	PS/2マウス コネクタ（緑色）	PS/2互換マウスを接続します
❸	PS/2 キーボード コネクタ（紫色）	PS/2互換キーボードを接続します
❹	シリアル ポート	モデムなどのシリアル デバイスを接続します
❺	パラレル ポート（赤紫色）	プリンタなどのパラレル デバイスを接続します
❻	USBポート（黒色）	USB（Universal Serial Bus）デバイスまたはUSBハブを接続します。USBデバイスはプラグ アンド プレイに対応しているため、Windows 2000およびWindows XPなどプラグ アンド プレイ対応OSをお使いの場合は、OS標準のドライバが適用されるため、通常、特殊なドライバの設定を行う必要はなく、接続するだけですぐに使用できます **別途ドライバの設定を必要とするデバイスもありますので、デバイスに付属の説明書および製造販売元のWebサイト等で確認してください**
❼	RJ45 LANケーブル コネクタ	ネットワーク接続用の8ピンのLANケーブルを接続します
❽	ステレオ ラインアウト コネクタ（黄緑色）	オーディオ出力用コネクタです。スピーカなどの外部オーディオ装置を接続します
❾	ステレオ ラインイン コネクタ（水色）	オーディオ入力用コネクタです。テープ デッキなどの外部オーディオ装置を接続します
❿	モノラル マイク コネクタ（ピンク色）	音声入力用のモノラル マイクを接続します
⓫	ゲーム ポート	ジョイスティックなどの機器を接続します
⓬	VGAポート	VGAモニタを接続します
⓭	拡張スロット カバー	拡張ボードを取り付ける場合に外します
⓮	IEEE 1394コネクタ（一部のモデルのみ）	デジタル ビデオ カメラなど、IEEE 1394対応の機器の6ピン ケーブルを接続します **IEEE 1394搭載モデルでない場合は、空きのPCI拡張カード スロットとなるため、拡張スロット カバーが装着されています** **IEEE 1394コネクタに接続する機器の電源は、接続する機器の側で個別に取ることをおすすめします**
⓯	電源コネクタ	電源コードを接続します。電源コードは、電源コンセントにしっかりと接続してください

1

マウス

このコンピュータには、PS/2互換スクロール マウスが付属しています。



PS/2互換スクロール マウス

マウスの左右のボタンは、通常のPS/2互換マウスと同様の機能を持っています。左右のボタンの間にあるホイールを前後に回転させると画面をスクロール[1] させることができます。このマウスの操作方法について詳しくは、**[マウスのプロパティ]**の説明を参照してください。**[マウスのプロパティ]**を表示するには、Windows 2000をお使いの場合は、**[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[マウス]**の順に選択します。Windows XPをお使いの場合は、**[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]**の順に選択します。

コンピュータに付属しているマウス以外のマウスを使用する場合は、使用するマウスの説明書で接続方法や使用方法を確認してからお使いください。

1. コンピュータのモニタに表示されている個所の上下または左右の部分に、表示領域を移動させること。大きな表や長い文書などを続けて見る場合に便利です。

マウスの操作

マウスでの操作を表す場合、以下の4つの用語がよく使用されます。

- **ポイント**：マウス ポインタ[1] を画面上の目的の場所に合わせること。使用しているアプリケーションによっては、アイコン[2] などをポイントするだけでその機能についての簡単な説明が表示されるものもあります。
- **クリック**：マウスの左ボタンを1回押して離すこと。マウスの基本操作です。画面上の目的の場所までマウス ポインタを移動させてから左ボタンをクリックすると、画面上のメニューやコマンド、選択肢、アイコンなどを選択できます。
- **ダブルクリック**：マウスの左ボタンを2回続けてすばやくクリックすること。選択したアプリケーションを実行したり、ファイルを開いたりできます。使用しているアプリケーションによって機能が多少異なりますので、アプリケーションに付属の説明書やオンライン ヘルプを参照してください。
- **ドラッグ アンド ドロップ**：マウスの左ボタンを押したまま目的の位置まで移動させてからボタンを離すこと。単に「ドラッグ」ということもあります。オブジェクトを移動させたり、ある範囲に含まれる複数のオブジェクトを選択したりする場合に使用します。使用しているアプリケーションによって機能が異なりますので、アプリケーションに付属の説明書やオンライン ヘルプを参照してください。

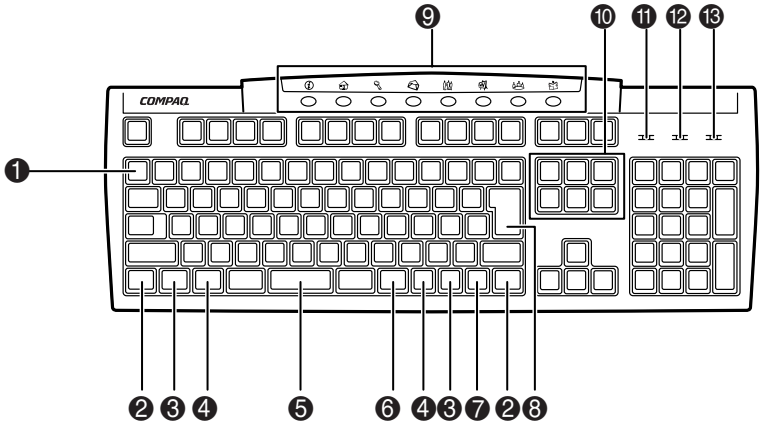
特に断り書きがない場合、クリック、ダブルクリック、ドラッグ アンド ドロップの操作では左ボタンを使用します。

1. マウスの動きに連動して画面上を移動する矢印。マウス カーソルともいいます。
2. 画面に表示されている、ファイルやアプリケーションなどを表す絵文字。

1

日本語キーボード

キー配列



イージー アクセス キーボード

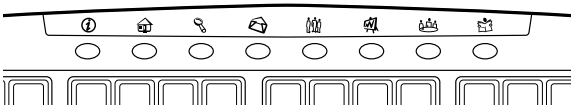
	名称	説明
❶	[半角/全角]キー	[半角/全角]キーを押すことにより、日本語入力のオン/オフを切り替えられます（お使いになる日本語入力システムにより、[Alt]キーを押しながら[半角/全角]キーを押す必要がある場合もあります）
❷	[Ctrl]キー （コントロール キー）	数字キー、英字キー、ファンクション キーなどとの組み合わせでアプリケーションのさまざまな機能を実行します
❸	[⊞]キー （ウィンドウズ キー）	マウスで画面左下の[スタート]ボタンをクリックしたときと同じように、Microsoft Windowsの[スタート]メニューを開きます。使用するアプリケーションによっては、他のキーと組み合わせてさまざまな機能を実行できます。詳しくはアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください
❹	[Alt]キー（オルト キー）	他のキーとの組み合わせで、さまざまな機能を実行します詳しくはアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください
❺	スペース バー	日本語入力がオフのときに押すと、スペース（空白）を入力したり、ある選択肢をキーボードから選択したりできます日本語入力がオンで入力した文字を確定する前に押すと、漢字などに変換できます
❻	[カタカナ ひらがな]キー	日本語入力がオンのときに[Alt]キーを押しながら[カタカナ ひらがな]キーを押すことにより、入力モード（ローマ字入力とかな入力）を切り替えられます
❼	[▤]キー （アプリケーション キー）	使用中のアプリケーションによって機能が異なります。詳しくはアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください
❽	[Enter]キー （エンター キー）	キーボードから選択した内容を確定するときに押します日本語入力がオンのときに押すと、入力した文字を確定できます

	名称	説明
❾	イージー アクセス ボタン	これらのボタンにあらかじめプログラムやファイル、またインターネットのURL を割り当てておけば、ボタンを押すだけで簡単にプログラムやファイルを開いたり、インターネットのWebサイトにアクセスしたりできるようになります。モデルにより初期設定でリンクされるWebサイトは異なります
❿	編集キー	ワープロや表計算などお使いのアプリケーションにより機能が多少異なります。また、Windowsの**[エクスプローラ]**などでも使用できます。詳しくは、お使いのアプリケーションの説明を参照してください ワープロや表計算などのアプリケーションでの一般的な働きを説明します ■ [Insert] キー（インサート キー）: ワープロなどの上書きモードを切り替えます ■ [Delete] キー（デリート キー）: 選択した文字などを削除します ■ [Home] キー（ホーム キー）: カーソルを行やページ、または文書の最初に移動します ■ [End] キー（エンド キー）: カーソルを行やページ、または文書の最後に移動します ■ [Page Up] キー（ページ アップ キー）: 文書などの中で、現在表示されている領域の 1 つ前の領域を表示します ■ [Page Down] キー（ページ ダウン キー）: 文書などの中で、現在表示されている領域の 1 つ後ろの領域を表示します
⓫	[Num Lock]ランプ（ナム ロック ランプ）	[Num Lock]がオンの時に点灯します。[Num Lock]がオンの場合は、テンキーから数字が入力できます
⓬	[Caps Lock]ランプ（キャップス ロック ランプ）	[Caps Lock]がオンの時に点灯します。[Caps Lock]がオンの場合は、[Shift]キーを押さずにアルファベットを大文字で入力できます
⓭	[Scroll Lock]ランプ（スクロール ロック ランプ）	[Scroll Lock]がオンのときに点灯します。[Scroll Lock]がオンの時の操作状態はお使いのアプリケーションによって異なります

1

イージー アクセス ボタン

このコンピュータに付属のキーボードの上部には、8つのイージー アクセス ボタンがあります。



イージー アクセス ボタン

これらのボタンにあらかじめプログラムやファイル、またインターネットのURL[1] を割り当てておけば、ボタンを押すだけで簡単にプログラムやファイルを開いたり、インターネットのWebサイトにアクセスしたりできるようになります。

ボタンの割り当ては変更することができます。工場出荷時には割り当てられているプログラムやURLは、お買い上げいただいたモデルにより異なります。

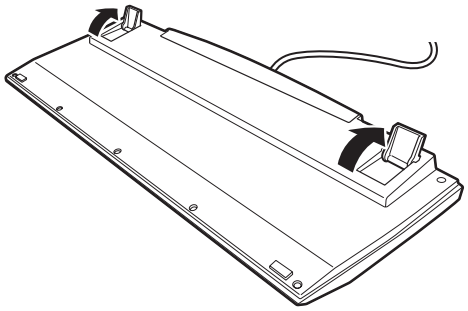
イージー アクセス ボタンを始めて押した時は、インターネット初期化プログラムの画面が表示されます。

イージー アクセス ボタンへのプログラムなどの割り当て方法について詳しくは、Windows 2000をお使いの場合は**[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[イージー アクセス ボタン]**の順に、Windows XPをお使いの場合は**[スタート]→[コントロール パネル]→[コントロール パネルのその他のオプション]→[イージー アクセス ボタン]**の順に選択するか、標準の状態では画面右下隅に表示される**[システム トレイ]**の**[イージー アクセス ボタン]**アイコン（ ）をダブルクリックして表示されるソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. URL（ユーアールエル）は、Uniform Resource Locator の略で、コンピュータのハードディスク上のファイルを示すためにパスやファイル名を使用するように、インターネット上で利用可能な Web ページ、ファイル、イメージ、ニュース グループなどの場所を表すポインタとして使用されます。例えば、コンパックのインターネット Web サイトを示す URL は、http://www.compaq.co.jp/ です。

チルト脚

キーボードの裏面には、キーボードの角度を調節してキー入力しやすくするためのチルト脚があります。



チルト脚

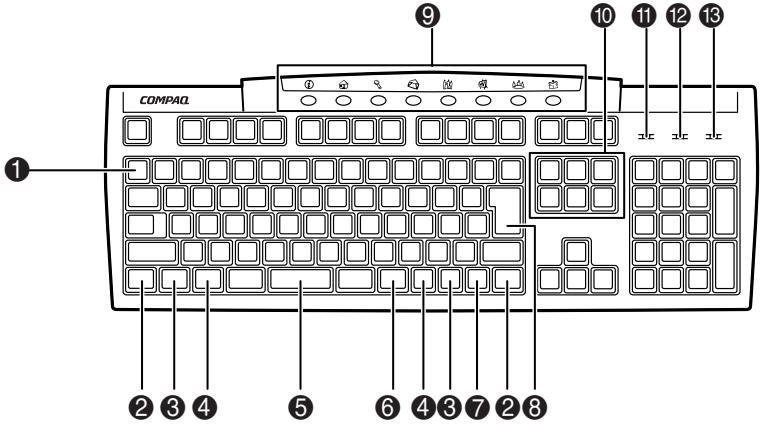
警告：お使いになる方の健康を損なうことがないように、コンピュータに付属の小冊子『快適に使用していただくために』をお読みの上、適切な作業環境を整え、正しい姿勢でコンピュータをお使いください。

1

日本語入力のヒント

お使いになる日本語入力システムにより操作方法が多少異なることがありますが、ここでは日本語を入力するときのヒントをご紹介します。お使いになる日本語入力システムのオンライン ヘルプおよび説明書と併せてご覧ください。

日本語入力システムがオフのときは、キーに表示してあるアルファベットや数字がそのまま入力されます。キーの上段に表示してある記号を入力するには、[Shift]キーを押しながら目的のキーを押します。日本語入力システムをオンにすると、ひらがな、かたかな、漢字などで日本語を入力できます。日本語を入力するには、「ローマ字入力」と「かな入力」の2つの方法があります。ローマ字入力を行う場合は、キーに表示してあるアルファベットを利用します。かな入力を行う場合は、キーに表示してあるひらがなを利用します。



- キーボードを使用して日本語入力システムのオン/オフを切り替えるには、**[半角/全角]**キー ❶を押します。
- キーボードを使用してローマ字入力とかな入力を切り替えるには、[Alt]キー ❹を押しながら**[カタカナ ひらがな]**キー ❻を押します。
- 1つのキーに複数の文字や記号が表示してある場合は、日本語入力のオン/オフを切り替えたり、[Shift]キーを押したりすることで目的の文字が入力できます。

■ 画面に表示されたひらがなを漢字やかたかなに変換するには、ひらがなの下に破線が表示されているときにキーボードの手前中央にあるスペース バー❺を押します。必要に応じてスペース バーを何度か押して、希望する文字が表示されたら[Enter]キー ❽を押します。ひらがなのままでよい場合は、ひらがなの下に破線が表示されているときにキーボードの[Enter]キーを押します。

このように、日本語を入力しているときに[Enter]キーを押して表示させる文字を決めることを「入力を確定する」または「文字を確定する」といいます。

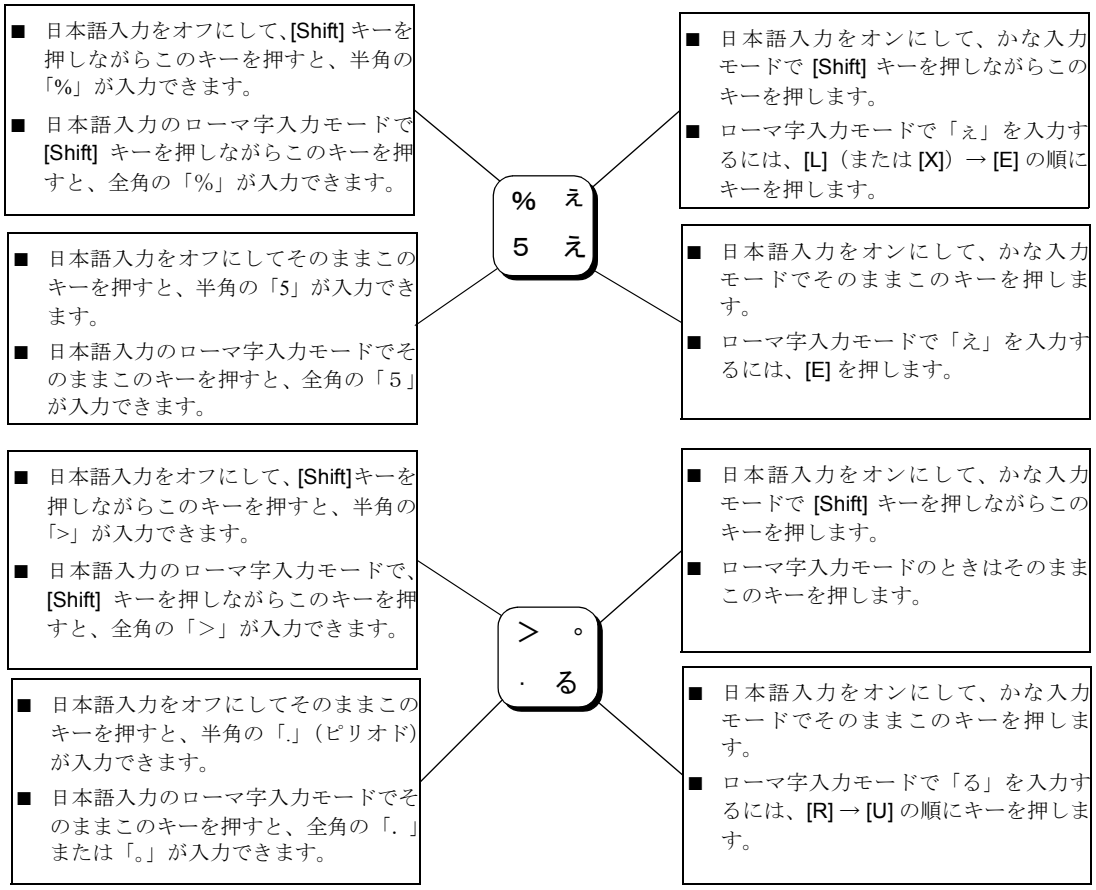
■ 入力した文字を消すには、確定前であれば、[Back Space]キーを押して1文字ずつ消すか、[Esc]キーを何度か押してすべて消します。確定後は、[Back Space]キーまたは[Delete]キーを使って文字を消します。文字を入力する位置を示す、縦の棒（カーソル）より左側の文字を消すには[Back Space]キーを、カーソルより右側の文字を消すには[Delete]キーを使用します。

日本語入力について詳しくは、お使いの日本語入力システムの説明書やオンライン ヘルプを参照してください。

また、日本語の入力方法や文書の操作方法は、お使いになるアプリケーションによっても異なります。詳しくは、アプリケーションに付属の説明書やオンライン ヘルプを参照してください。

1

入力例


■ 日本語入力をオフにして、[Shift] キーを押しながらこのキーを押すと、半角の「%」が入力できます。
■ 日本語入力のローマ字入力モードで [Shift] キーを押しながらこのキーを押すと、全角の「%」が入力できます。
■ 日本語入力をオンにして、かな入力モードで [Shift] キーを押しながらこのキーを押します。
■ ローマ字入力モードで「ぇ」を入力するには、[L]（または [X]）→ [E] の順にキーを押します。
% ぇ
5 え
■ 日本語入力をオフにしてそのままこのキーを押すと、半角の「5」が入力できます。
■ 日本語入力のローマ字入力モードでそのままこのキーを押すと、全角の「５」が入力できます。
■ 日本語入力をオンにして、かな入力モードでそのままこのキーを押します。
■ ローマ字入力モードで「え」を入力するには、[E] を押します。
■ 日本語入力をオフにして、[Shift]キーを押しながらこのキーを押すと、半角の「>」が入力できます。
■ 日本語入力のローマ字入力モードで、[Shift] キーを押しながらこのキーを押すと、全角の「＞」が入力できます。
■ 日本語入力をオンにして、かな入力モードで [Shift] キーを押しながらこのキーを押します。
■ ローマ字入力モードのときはそのままこのキーを押します。
＞ 。
. る
■ 日本語入力をオフにしてそのままこのキーを押すと、半角の「.」（ピリオド）が入力できます。
■ 日本語入力のローマ字入力モードでそのままこのキーを押すと、全角の「．」または「。」が入力できます。
■ 日本語入力をオンにして、かな入力モードでそのままこのキーを押します。
■ ローマ字入力モードで「る」を入力するには、[R] → [U] の順にキーを押します。

第 2 章
初回の操作および設定

電源を入れる

コンピュータの購入後初めて電源を入れる場合は、以下の手順に従って確認および操作してください。

1. コンピュータに同梱されている『コンピュータの設置』ポスターを参照して、モニタ、マウス、キーボード、および電源コードをコンピュータ本体に接続します。

注意 : **コンピュータの初期設定が正常に行われない場合があります**ので、購入後初めて電源を入れるときは、モニタ、マウス、およびキーボード以外の装置は接続しないでください。プリンタや各種ドライブなどの外部装置や、PCI拡張ボードや増設用メモリなどの内部コンポーネントは、コンピュータの初期設定が終了してから取り付けてください。

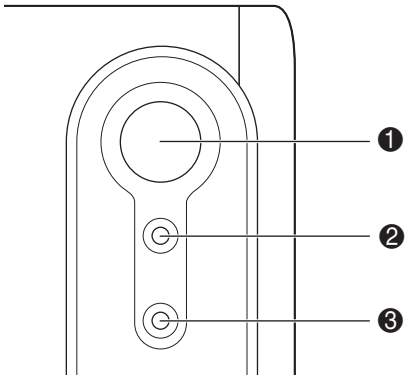
Windows 2000またはWindows XPをお使いの場合、コンピュータの初期設定が終了してから取り付けた装置は、通常Windowsによって自動的に認識され使用できる状態になります。

2. 必要に応じて3-2極国内変換プラグを取り付けて、電源コードをコンセントに接続します。

注意 : 電源コードは、コンピュータの近くの抜き差しのしやすいコンセントに接続し、つまずいたり引っかけたりしないように配線してください。また、電源コードの上に重いものを置いたり壁と机の間などに強い力で挟まれたりしないように注意してください。

3. モニタの電源を入れます。電源の入れ方や電源ボタン（スイッチ）については、モニタに付属の取扱説明書を参照してください。

4. コンピュータ本体の電源ボタン❶を押して電源を入れます。電源が入ると電源ランプ❷が点灯し、ハードディスク ドライブへのアクセス中はドライブ アクセス ランプ❸が点灯または点滅します。



電源ボタン、電源ランプ、およびドライブ アクセス ランプ

5. コンピュータの初期設定が開始されますので、画面の指示に従って操作します。詳しくは、この章の“オペレーティング システムの設定”を参照してください。

注意：コンピュータを正しく設定するために、初期設定のプロセスが開始されたら途中で中断しないでください。電源ボタンを誤って押してしまわないように注意してください。

正しく初期設定されなかった場合は、コンピュータに付属のリストアCDを使用して設定しなおすことができます。リストアCDの使用方法については、CDに付属の説明書を参照してください。

通常の電源操作

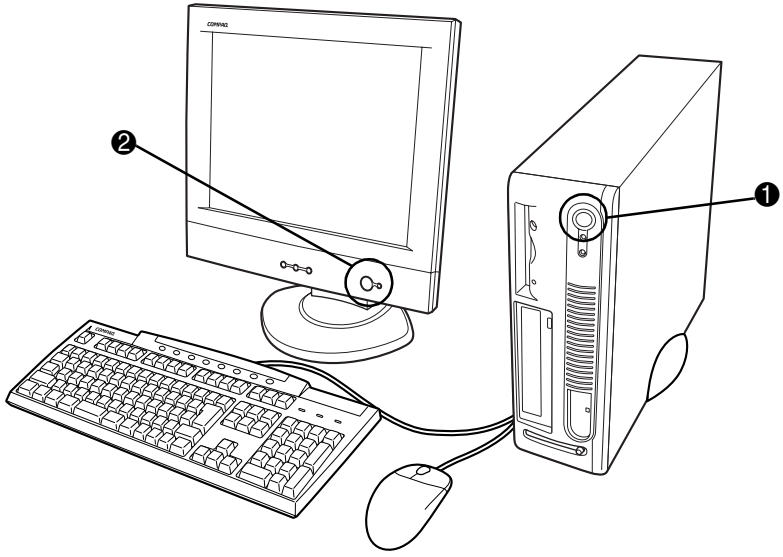
2回目以降は、電源を入れるとコンピュータをすぐに使用できる状態になります。次ページの説明を参照の上、まず周辺機器の電源を入れてから、コンピュータ本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。

前回正しい手順で電源を切らなかった場合、Windowsが起動される前に警告や確認のメッセージが表示されることがあります。このような場合は画面の説明をよく読んで、指示に従って操作してください。

電源ボタンの位置

モニタなどの周辺機器の電源を入れてからコンピュータ本体の電源を入れます。コンピュータの電源ボタン❶の位置は、下の図で確認してください。周辺機器の電源の入れ方については、それぞれの装置に付属の説明書を参照してください。

コンピュータ本体の電源は最後に入れます。モニタ以外にもプリンタや外部記憶装置など外部電源に接続している装置を使用する場合は、先に外部装置の電源を入れてからコンピュータ本体の電源を入れてください。



電源ボタンの位置

お使いのモニタにより、電源ボタン❷（スイッチ）の位置や形状は異なります。モニタに付属の取扱説明書でご確認ください。

オペレーティング システムの設定

お買い上げいただいたコンピュータのハードディスク ドライブには、Microsoft Windows 2000 Professional、Microsoft Windows XP ProfessionalまたはMicrosoft Windows XP Homeオペレーティング システム[1]（OS）があらかじめインストールされています。コンピュータを購入後最初に電源を入れた時に、オペレーティング システムの設定を始めとするシステムの初期設定プロセスが開始されます。

ほとんどのプロセスは自動的に実行されますが、情報を入力したり設定を選択したりするプロセスも一部あります。画面の指示とこの項目の説明を参照して初期設定を行ってください。

初期設定時の注意事項

初期設定を行う前に、以下の注意事項をお読みください。

■ 初期設定のプロセスが終了するまでは、モニタ、マウス、およびキーボード以外の周辺機器は接続しないでください。

上記以外の周辺機器を使用する場合は、初期設定が終了してから接続してください。Windows 2000またはWindows XPをお使いの場合、ほとんどの機器はWindowsによって自動的に認識/設定されます。

■ 初期設定のプロセスがいったん開始されたら、このプロセスを中断しないでください。電源を切ったり、電源コードを抜いたりすることがないように注意してください。

電源が切れたりしてプロセスが中断されてしまった場合は、コンピュータに付属のリストアCD[2] を使用してハードディスクを出荷時の状態に戻し、もう一度最初から初期設定のプロセスを開始することができます。ただし、リストアCDを使用した場合、通常の設定プロセスよりも時間がかかります。

■ 画面上の選択肢をマウスで選ぶ場合は、マウスの左ボタンを使用してください。

1. コンピュータを使用するために必要な基本的なソフトウェアです。ワープロや表計算などのアプリケーション ソフトウェアをお使いになる場合は、使用しているオペレーティング システム（このコンピュータではMicrosoft Windows 2000 Professional、Microsoft Windows XP Professional、またはMicrosoft Windows XP Home）に対応していることを確認してください。
2. リストアCDを使用すると、コンピュータのハードディスク ドライブの内容を工場出荷時の状態に復元（Restore）できます。

- 初期設定のプロセスが終了するまでは、プリンタ、プリンタ ドライバ、およびその他のドライバをインストールしないでください。初期設定のプロセス中にプリンタやドライバ類をインストールしようとすると、初期設定が正しく行われないことがあります。
- 画面が消えたり画面の表示内容がなかなか変わらなくなってしまったりした場合は、コンピュータの前面にあるハードディスク ドライブのアクセス ランプおよび画面上の砂時計のマークを確認してください。
  - ハードディスク ドライブ アクセス ランプが点滅している場合や砂時計のマークが動いている場合は、設定プロセスが継続しています。そのままの状態でもうしばらくお待ちください。
  - ハードディスク ドライブ アクセス ランプが消えたままで砂時計のマークも表示されていない状態で30分以上経過してしまった場合は、以下の手順で操作してください。
    1. コンピュータの電源ボタンを押して電源を切ります。

注意：初期設定プロセス中に電源を切る必要が生じた場合は、電源ボタンを押して電源を切ります。[Ctrl]＋[Alt]＋[Delete]キーによるシステムの再起動は行わないでください。

---

    2. 10秒以上待ってからコンピュータの電源ボタンを押して電源を入れなおします。
    3. 画面表示を見ながら設定作業を続けます。

コンピュータの電源を入れなおしても初期設定が完了できない場合は、コンピュータに付属のリストアCDを使用してハードディスク ドライブを工場出荷時の状態に戻してから改めて電源を入れなおしてください。リストアCDの使用方法については、CDに付属の説明書を参照してください。

次に、オペレーティング システムのセットアップについて画面表示に従って説明します。

- Windows 2000のセットアップ：20ページからの説明をお読みください。
- Windows XP Professionalのセットアップ：21ページからの説明をお読みください。
- Windows XP Homeのセットアップ：22ページからの説明をお読みください。

Windows 2000のセットアップ

コンピュータを購入後、最初に電源を入れた時に、コンピュータの初期設定プロセスが開始されます。

1. インストール オプションを確認する画面が表示されたら [F10] キーを押します。Windows 2000のセットアップが開始されます。
2. [Windows 2000セットアップウィザードの開始] 画面が表示されたら[次へ]ボタンをクリックします。
3. ライセンス契約：ここの契約の内容をよくお読みください。[Page Dwon]キーを押すか、右側にある下向きの三角をマウスでクリックすると、契約の続きが表示されます。最後まで読み、内容に同意される場合は[同意します]の横にある丸印をクリック してから[次へ]ボタンをクリックします。

このライセンス契約に同意しない限り、Windows 2000を使用することはできません。[同意しません]を選択すると、セットアップ処理は終了します。[同意します]、[同意しません]の判断は、お客様の責任において行ってください。

4. 地域:地域設定の画面ではシステム ロケールおよびキーボード レイアウトが日本語を使用する設定になっていることを確認して[次へ]ボタンをクリックします。地域を変更する場合は [カスタマイズ]ボタンをクリックして設定を変更します。
5. ソフトウェアの個人用設定：お使いになる方のお名前と会社名または組織名を入力します。

いったん入力した個人用設定情報を変更するには、Windows 2000を再インストールする必要があります。

ローマ字入力モードとかな入力モードを切り替えるには、キーボードの[Alt]キーを押しながら[カタカナ ひらがな]キーを押します。日本語入力のオン/オフをを切り替えるには、[半角/全角]キーを押します。

お名前の入力後、会社名または組織名を入力するには、[Tab] キーを押すか、マウスで組織名の欄をクリックして入力用のカーソル(文字の入力位置を示す縦の棒)を移動させてください。会社名または組織名を入力する必要がない場合は、空欄のままで構いません。

入力し終わったら [Enter] キーを押すか [次へ] ボタンをクリックします。

6. 日付と時刻の設定：適切に設定したら、[次へ]ボタンをクリックします。

7. Windows 2000セットアップの完了：**[完了]**をクリックしてコンピュータを再起動します。
8. **[ソフトウェアは正常にインストールされました]**画面が表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
9. [Windows 2000の紹介]ダイアログが表示されたら、Windows 2000オペレーティング システムの初期セットアップは完了です。

次に周辺機器の接続について、24ページからの説明をお読みください。

Windows XP Professionalのセットアップ

コンピュータを購入後、最初に電源を入れた時に、コンピュータの初期設定プロセスが開始されます。

1. インストールのオプションを確認する画面が表示されたら[F10]キーを押します。Windows XP Professionalのセットアップが開始されます。
2. [Microsoft Windowsへようこそ]画面：**[次へ]**ボタンをクリックします。

画面上の**[?]**をクリックすると、いつでもヘルプを参照できます。操作が分からないときに利用してください。

3. システム設定の選択：**[地域]**が**[日本]**、**[言語]**が**[日本語]**、およびキーボードの種類が**[日本語**（MS-IME2002）**]**になっていることを確認して**[次へ]**ボタンをクリックします。
4. タイム ゾーンの選択：タイム ゾーンが**[大坂、札幌、東京]**になっていることを確認して**[次へ]**ボタンをクリックします。
5. 使用許諾契約：この契約の内容をよくお読みください。[Page Down]キーを押すか、右側にある下向きの三角をマウスでクリックすると、契約の続きが表示されます。最後まで読み、内容に同意される場合は**[同意します]**の横にある丸印をクリックしてから**[次へ]**ボタンをクリックします。

このライセンス契約に同意しない限り、Windows XP Professionalを使用することはできません。**[同意しません]**を選択すると、セットアップ処理は終了します。**[同意します]**、**[同意しません]**の判断は、お客様の責任において行ってください。

6. コンピュータの名前：コンピュータの名前や説明は、任意に設定できます。お好きな名前や説明を入力するか、表示されたものを使用する場合はそのままの状態で、**[次へ]**をクリックしてください。

7. インターネットに接続する方法の指定：
   - ❑ お使いになる方法の左側にチェックを入れて**[次へ]**ボタンをクリックし、画面の指示に従って設定します。
   - ❑ 後で設定する場合は、**[省略]**ボタンをクリックして次に進みます。
8. ユーザー登録：**[はい、今すぐユーザー登録します]**または**[いいえ、今回はユーザー登録しません]**のどちらかの左側にチェックを入れて**[次へ]**ボタンをクリックします。

オンライン ユーザー登録を行うには、インターネットに接続できる環境になっていることが必要です。インターネットに接続する方法を指定していない場合は、Windowsの設定が完了し、インターネットへの接続設定が終わってから**[スタート]→[ヘルプとサポート]→[Windows XPの新機能]→[ライセンス認証、ライセンス、およびユーザー登録]→[オンライン ユーザー登録を使用する]**の順に選択し、ウィザードに従ってユーザー登録をしてください。

---

9. **[完了]**をクリックしてコンピュータを再起動します。
10. **[ソフトウェアは正常にインストールされました]**という画面が表示されたら**[OK]**ボタンをクリックします。コンピュータが再起動され、Windowsが起動します。

次に周辺機器の接続について、24ページからの説明をお読みください。

Windows XP Homeのセットアップ

コンピュータを購入後、最初に電源を入れた時に、コンピュータの初期設定プロセスが開始されます。

1. インストールのオプションを確認する画面が表示されたら**[F10]**キーを押します。Windows XP Homeのセットアップが開始されます。
2. **[Microsoft Windowsへようこそ]**画面：**[次へ]**ボタンをクリックします。

画面上の**[?]**をクリックすると、いつでもヘルプを参照できます。操作が分からないときに利用してください。

---

3. システム設定の選択：**[地域]**が**[日本]**、**[言語]**が**[日本語]**、およびキーボードの種類が**[日本語（MS-IME2002）]**になっていることを確認して**[次へ]**ボタンをクリックします。
4. タイム ゾーンの選択：タイム ゾーンが**[大坂、札幌、東京]**になっていることを確認して**[次へ]**ボタンをクリックします。

5. 使用許諾契約：この契約の内容をよくお読みください。[Page Down]キーを押すか、右側にある下向きの三角をマウスでクリックすると、契約の続きが表示されます。最後まで読み、内容に同意される場合は**[同意します]**の横にある丸印をクリックしてから**[次へ]**ボタンをクリックします。

このライセンス契約に同意しない限り、Windows XP Homeを使用することはできません。**[同意しません]**を選択すると、セットアップ処理は終了します。**[同意します]**、**[同意しません]**の判断は、お客様の責任において行ってください。

6. コンピュータの名前：コンピュータの名前や説明は、任意に設定できます。お好きな名前や説明を入力するか、表示されたものを使用する場合はそのままの状態で、**[次へ]**をクリックしてください。
7. インターネットに接続する方法の指定：
   - ❑ お使いになる方法の左側にチェックを入れて**[次へ]**ボタンをクリックし、画面の指示に従って設定します。
   - ❑ 後で設定する場合は、**[省略]**ボタンをクリックして次に進みます。
8. ユーザー登録：**[はい、今すぐユーザー登録します]**または**[いいえ、今回はユーザー登録しません]**のどちらかの左側にチェックを入れて**[次へ]**ボタンをクリックします。

オンライン ユーザー登録を行うには、インターネットに接続できる環境になっていることが必要です。インターネットに接続する方法を指定していない場合は、Windowsの設定が完了し、インターネットへの接続設定が終わってから**[スタート]→[ヘルプとサポート]→[Windows XPの新機能]→[ライセンス認証、ライセンス、およびユーザー登録]→[オンライン ユーザー登録を使用する]**の順に選択し、ウィザードに従ってユーザー登録をしてください。

9. ユーザの指定：必要な欄に入力したら**[次へ]**ボタンをクリックします。
10. **[完了]**をクリックしてコンピュータを再起動します。
11. **[ソフトウェアは正常にインストールされました]**という画面が表示されたら**[OK]**ボタンをクリックします。コンピュータが再起動され、Windowsが起動します。

次に周辺機器の接続について、24ページからの説明をお読みください。

周辺機器の接続および設定

オペレーティング システム（OS）の初期設定が終了したら、必要な周辺機器を接続してください。

2

Windows 2000またはWindows XPのようにプラグ アンド プレイ対応OSをお使いの場合、ほとんどの装置はOSによって自動的に認識/設定され、すぐに使用できる状態になります。ただし、プラグ アンド プレイに対応していないOSをお使いの場合は、手動でドライバを設定する必要があります。

また、プラグ アンド プレイ対応OSをお使いの場合でも、その装置の機能や特長を最大限に活用するために、手動で微調整を行ったりドライバを設定しなおしたりした方がよい場合もあります。手動で設定する場合は、お使いになる周辺機器に付属の説明書をよく読んで設定してください。

△ **注意**：ドライバ類の追加インストール等はお客様の責任において行ってください。コンパック以外の供給元から入手したドライバ等をインストールして問題が発生した場合、コンパックでは保証いたしかねますのでご了承ください。なお、コンパックのWebサイトにて、最新版のドライバ類を随時公開しています。詳しくは、コンパックのWebサイト（http://www.compaq.co.jp/）をご覧ください。

ここでは、モニタを例に、手動での装置の設定方法を説明します。

モニタの設定

OSによって自動的に認識されないモニタを接続していると、初期設定プロセスでは、とりあえず「標準的な」モニタとして設定されます。このままでも使用できますが、お使いのモニタの機能や特長を最大限に活用するためには、以下の手順に従って、モニタの設定を確認し、必要であれば設定を変更することをおすすめします。

ディスプレイ ドライバの設定

ディスプレイ ドライバの設定手順は、お使いのOSにより多少異なります。

- Windows 2000をお使いの場合は、25ページの説明をお読みください。
- Windows XPをお使いの場合は、26ページの説明をお読みください。

Windows 2000をお使いの場合

1. **[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**の順に選択し、**[システム]**アイコンをダブルクリックします。
2. **[ハードウェア]**タブを選択してから**[デバイス マネージャ]**ボタンをクリックします。
3. **[モニタ]**の横の**[+]**マークをクリックして表示されたモニタ名を確認します。
   - ❏ 正しく設定されている場合はウィンドウの右上の**[×]**をクリックして**[デバイス マネージャ]**を閉じ、次に**[キャンセル]**ボタンをクリックして**[システムのプロパティ]**ウィンドウを閉じます。
   - ❏ 設定を変更する場合はモニタ名（例：**[（既存のモニタ）]**）を右クリックし、ショートカット メニューから**[プロパティ]**を選択して次の手順に進みます。
4. **[ドライバ]**タブをクリックし、**[ドライバの更新]**ボタンをクリックします。
5. **[次へ]**ボタンをクリックします。
6. **[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]**をクリックして選択してから**[次へ]**ボタンをクリックします。
7. モニタに付属のフロッピーディスクやCDを使用する場合は、フロッピーディスクまたはCDをドライブに挿入して**[ディスク使用]**ボタンをクリックします。
   Windows 2000に組み込んであるドライバを使用する場合は、**[このデバイス クラスのハードウェアをすべて表示]**を選択します。
8. **[製造元]**および**[モデル]**をクリックして選択し、**[次へ]**ボタンをクリックします。
9. 画面の指示に従って操作します。

Windows 2000でディスプレイ ドライバを変更するには、上記の方法以外に**[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**→**[画面]**アイコン→**[設定]**タブ→**[詳細]**ボタン→**[モニタ]**タブの順に選択して表示される**[プロパティ]**ボタンをクリックして設定する方法もあります。

モニタ以外の周辺機器も、**[デバイス マネージャ]**のリストで選んで設定を変更できます。

Windows XPをお使いの場合

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[システム]**の順に選択します。
2. **[ハードウェア]**タブを選択してから**[デバイス マネージャ]**ボタンをクリックします。
3. **[モニタ]**タブをクリックして表示されたモニタ名を確認します。
   - ❑ 正しく設定されている場合はウィンドウの右上の**[×]**をクリックして**[デバイス マネージャ]**を閉じ、次に**[キャンセル]**ボタンをクリックして**[システムのプロパティ]**ウィンドウを閉じます。
   - ❑ 設定を変更する場合はモニタ名（例：**[（既存のモニタ）]**）を右クリックし、ショートカット メニューから**[ドライバの更新]**を選択して次の手順に進みます。
4. モニタに付属のフロッピーディスクやCDを使用する場合は、フロッピーディスクまたはCDをドライブに挿入してから**[次へ]**ボタンをクリックします。
5. 画面の指示に従って操作します。

Windows XPでディスプレイ ドライバを変更するには、上記の方法以外に**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[デスクトップの表示とテーマ]**→**[画面]**アイコン→**[設定]**タブ→**[詳細設定]**ボタン→**[モニタ]**タブの順に選択して表示される**[プロパティ]**ボタンをクリックして設定する方法もあります。

モニタ以外の周辺機器も、**[デバイス マネージャ]**のリストで選んで設定を変更できます。

ディスプレイのカスタマイズ[1]

ここでは、表示する色数および解像度の変更方法を説明します。

Windows 2000をお使いの場合：

1. **[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**の順に選択し、**[画面]**アイコンをダブルクリックします。
2. **[設定]**タブをクリックします。
3. 表示する色の数を選択するには**[画面の色]**ボックスで、下向きの三角形をクリックして表示する色の数を選択します。
4. **[画面の領域]**ボックスで、「スライダ」と呼ばれるつまみを左右にドラッグ[2]して解像度を選択します。
5. 設定が終了したら**[OK]**ボタンまたは**[適用]**ボタンをクリックします。

[OK]ボタンをクリックすると、設定していた画面（ウィンドウまたはダイアログボックスといいます）が閉じられます。**[適用]**ボタンをクリックすると、設定していた画面はそのままで、変更した内容が有効になります。内容を変更していない場合は**[適用]**ボタンはクリックできません。変更内容を破棄する場合は、**[キャンセル]**ボタンをクリックしてください。

1. カスタマイズとは、使い勝手をよくするために、ユーザ自身がさまざまな設定を変更することです。
2. ドラッグとは、「引きずる」という意味の英語の「drag」から派生したコンピュータ用語で、「マウスのボタンを押したまま移動させ目的のところでボタンを離す」操作を言います。正確には、最後にボタンを離すことから、ドラッグ アンド ドロップ（drag and drop）とも言いますが、ほとんどの場合、同じ意味で使われています。

Windows XPをお使いの場合：

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]**の順に選択します。
2. **[設定]**タブをクリックします。
3. 表示する色の数を選択するには**[画面の色]**ボックスで、下向きの矢印をクリックして表示する色の数を選択します。
4. **[画面の解像度]**ボックスで、「スライダ」と呼ばれるつまみを左右にドラッグ[1]して解像度を選択します。
5. 設定が終了したら**[OK]**ボタンまたは**[適用]**ボタンをクリックします。

[OK]ボタンをクリックすると、設定していた画面（ウィンドウまたはダイアログボックスといいます）が閉じられます。**[適用]**ボタンをクリックすると、設定していた画面はそのままで、変更した内容が有効になります。内容を変更していない場合は**[適用]**ボタンはクリックできません。変更内容を破棄する場合は、**[キャンセル]**ボタンをクリックしてください。

1. ドラッグとは、「引きずる」という意味の英語の「drag」から派生したコンピュータ用語で、「マウスのボタンを押したまま移動させ目的のところでボタンを離す」操作を言います。正確には、最後にボタンを離すことから、ドラッグ アンド ドロップ（drag and drop）とも言いますが、ほとんどの場合、同じ意味で使われています。

ソフトウェアのインストール

アプリケーションやユーティリティなどをインストールする場合は、それぞれのソフトウェアに付属の説明書をよくお読みになり、指示に従って操作してください。説明書は、CD-ROMやフロッピーディスクにテキスト ファイルなどの形で収められている場合もあります。

会社のネットワークに接続してコンピュータをお使いになる場合は、ソフトウェアをインストールする前に、システム情報管理部門などネットワーク管理担当部署にお問い合わせになることをおすすめします。

コンピュータに付属のリストアCDを使用してハードディスク ドライブを工場出荷時の状態に戻した場合、Windowsオペレーティング システムの設定後に、アプリケーションやユーティリティをもう一度インストールする必要があります。ソフトウェアのセットアップ用のCD-ROMやフロッピーディスクは大切に保管してください。

コラム：ソフトウェアのライセンスについて

「あるソフトウェアを正規の販売店で購入したため、そのソフトウェアのライセンスを所有している。自分はライセンスを所有しているのだから、自分が使用している複数のコンピュータにそのソフトウェアをインストールして使用できる」……この考えは正しいでしょうか？？？

通常、オペレーティング システムを含むソフトウェアのライセンス契約では、そのソフトウェアを1台のコンピュータにのみインストールして使用することをユーザに対して許可しています。

無償で配布されているフリーウェアなど一部のソフトウェアを除き、あるソフトウェアを複数のコンピュータにインストールして使用するには、複数のコンピュータでの使用を許可するライセンス契約を結ぶか、インストールして使用するコンピュータの台数分のライセンスを購入する必要があります。1台分のライセンスで複数のコンピュータにインストールして使用することは、ソフトウェアの違法コピーとなります。

ソフトウェアによって、複数のコンピュータにインストールすること自体を禁止している場合と、複数のコンピュータにインストールすることは許可していても同時に複数のコンピュータで使用することを禁止している場合があります。お使いになるソフトウェアの「使用許諾契約」や「ライセンス契約」などで使用条件をご確認ください。

お買い上げいただいたコンピュータは、コンピュータのハードウェア（本体、キーボード、マウス）とソフトウェア（オペレーティング システムなど）がセットになっています。このコンピュータを使用するには、「Windowsユーザー使用許諾契約」または「ライセンス契約」などの使用許諾契約書に同意していただく必要があります。この章の“オペレーティング システムの設定”をご覧ください。

ご自分で別途入手されたオペレーティング システム（OS）をご使用になる場合は、このガイドで示す「Windowsユーザー使用許諾契約」または「ライセンス契約」などの使用許諾契約書に同意なさる必要はありません。

重要：このコンピュータは、ハードウェアとソフトウェアをセットでご提供させていただいております。プリインストールされているOSをお使いにならない場合でも、OSの代金のみ分けてご返却することはできませんので悪しからずご了承ください。

違法コピーは、ソフトウェアの著作権者や所有者の権利を侵害するばかりではなく、正当な対価を支払ってソフトウェアを使用している多くのユーザの利益を損なうことにもつながります。また、悪質な場合は損害賠償を請求されることもあり得ます。

ソフトウェアをお使いになる場合は、使用許諾契約をお読みの上、正しくお使いくださいますようお願いいたします。

第 3 章
コンピュータの基本操作

電源のオン/オフ

電源を入れる

コンピュータを購入後、初めて電源を入れる場合は、このガイドの第2章の説明にしたがって操作してください。

2回目以降は、電源を入れるとコンピュータをすぐに使用できる状態になります。まずモニタなどの周辺機器の電源を入れてから、コンピュータ本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。

前回正しい手順で電源を切らなかった場合、Windowsが起動される前に警告や確認のメッセージが表示されることがあります。このような場合は画面の説明をよく読んで、指示に従って操作してください。

電源を切る

Windowsの終了

通常の操作でコンピュータの電源を切るには、必要なデータを保存した後、アプリケーションを終了し、次の順に選択して[OK]ボタンをクリックします。

- Windows 2000の場合：**[スタート]→[シャットダウン]→[シャットダウン]**
- Windows XPの場合：**[スタート]→[終了オプション]→[電源を切る]**

Windowsオペレーティング システムが終了処理を行い、問題がなければコンピュータ本体の電源が自動的に切れます。

終了処理が行われているときに画面にメッセージが表示される場合もあります。この場合は、メッセージをよく読み、適切な操作を行ってください。

モニタやプリンタなどの周辺機器を接続している場合は、コンピュータ本体の電源を切った後、それぞれの機器に付属の説明書の指示に従って電源を切ります。

コンピュータの再起動

アプリケーションやドライバをインストールしたり、コンピュータの設定を変更したりすると、設定を有効にするためにコンピュータの再起動が必要となる場合があります。再起動が必要な場合は画面にメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときに**[はい]**を選択すると、コンピュータが自動的に再起動されます。**[いいえ]**を選択するなどしてすぐに再起動しなかった場合は、準備が整ったら次の順に選択して[OK]ボタンをクリックします。

- Windows 2000の場合：**[スタート]→[シャットダウン]→[再起動]**
- Windows XPの場合：**[スタート]→[終了オプション]→[再起動]**

また、通常の手順でWindowsが終了できなくなった場合、[Ctrl]＋[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押してコンピュータを再起動することもできます。

注意：通常の手順で終了できる場合は、[Ctrl]＋[Alt]＋[Delete]キーを押してコンピュータを再起動しないでください。
コンピュータの初期設定プロセス中に電源を切る必要が生じた場合は、電源ボタンを押して電源を切ります。[Ctrl]＋[Alt]＋[Delete]キーによるシステムの再起動は行わないでください。
なお、電源ボタンを押して電源を切ると、次にコンピュータを起動した時にエラーメッセージが表示されることがあります。この場合は、画面のメッセージをよく読み、適切な操作を行ってください。

強制終了

通常の手順でWindowsが終了できず、[Ctrl]＋[Alt]＋[Delete]キーも機能しなくなった場合は、電源ボタンを4秒以上押して強制的に電源を切ります。

注意：通常の手順で終了できる場合は、電源ボタンを押してコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押して強制終了すると、保存していない作業内容（作成中のワープロ文書など）は消えてしまいます。

電源ボタンを押して電源を切った後にもう一度コンピュータの電源を入れる場合は、少なくとも10秒以上待ってから電源ボタンを押してください。

電源ボタンを押して電源を切ると、Windowsが正しく終了されなかったと認識され、次にコンピュータを起動した時にエラー メッセージが表示されることがあります。この場合は、画面のメッセージをよく読み、適切な操作を行ってください。

停電などの場合

停電したり、誤って電源コードを抜いたりしたために電源が遮断されると、コンピュータの電源は自動的に切れます。この場合、保存していない作業内容（作成中のワープロ文書など）は消えてしまいます。データを保護するために、作業内容をこまめに保存しておくことをお勧めします。

停電の場合は、配電が復旧したことが確認できるまで電源コードをコンピュータから抜いておいてください。

注意：お住まいの地域で雷雨が発生すると予想される場合は、コンピュータの電源を切っておくことをお勧めします。モデム ケーブルを壁のモジュラ ジャックから抜き、コンピュータ本体およびモニタやプリンタなどの周辺機器のすべての電源コードをコンセントから抜いてください。ネットワークを使用している場合は、LANケーブルも抜いてください。

重要：落雷等の天災によるコンピュータの故障は保証対象外です。

ハードディスクの内容の復元

Windowsのツールの使用

Windows 2000をお使いの場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[バックアップ]の順に選択して表示されるツールを使用してデータのバックアップを取っておくと、予期しないエラーが発生してデータが失われた場合などにバックアップしておいたデータを復元することができます。**[バックアップ]**および**[復元]**ツールの使い方について詳しくは、Windowsのオンライン ヘルプを参照してください。

Windows XPをお使いの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[システムの復元]の順に選択して表示されるツールを使用すると、コンピュータを以前の状態に復元することができます。**[システムの復元]**ツールの使い方について詳しくは、Windowsのオンライン ヘルプを参照してください。

リストアCDの使用

コンピュータの初期設定プロセス中にエラーが発生したり、コンピュータの電源を入れなおしてもWindowsが起動しなくなったりした場合は、コンピュータに付属のリストアCDを使用して、ハードディスク ドライブの内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

注意：リストアCDを使用すると、ハードディスク ドライブの内容はすべて消去されます。

リストアCDを使用してハードディスク ドライブを工場出荷時の状態に戻した場合、Windowsオペレーティング システムの設定後に、アプリケーションやユーティリティをもう一度インストールする必要があります。ソフトウェアのセットアップ用のCDやDVD、フロッピーは大切に保管してください。

リストアCDの使用方法については、CDに付属の説明書を参照してください。

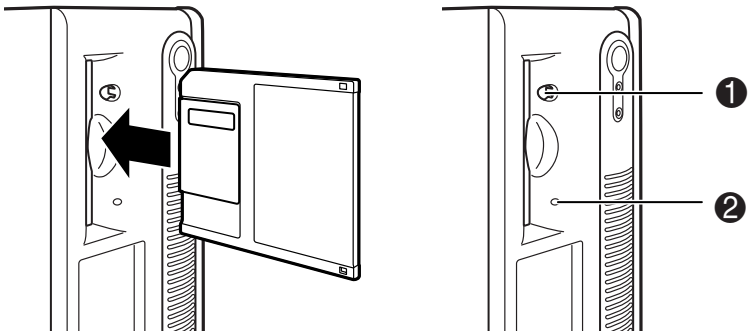
リムーバブル メディアの使用

フロッピーの使用

フロッピー ドライブ（ディスケット ドライブとも言います）では、3.5インチのフロッピーにデータを保存します。このフロッピーには1.44 MBまでのデータを保存できます。フロッピーに保存されたデータは、消去したり上書きしたりしない限りそのままフロッピーに残ります。

次の手順でフロッピーをドライブに出し入れします。

1. フロッピーのラベル面を左側にして、フロッピー上に刻印してある矢印がドライブ側を向くように持ちます。フロッピーをドライブに丁寧にしっかり押し込みます。



フロッピーの挿入および取り出し

2. フロッピーをドライブから取り出すには、ドライブの取り出しボタン❶を押します。

注意：フロッピーを取り出す場合は、ドライブの動作が止まるまで（アクセス ランプ❷が消灯するまで）お待ちください。ドライブがフロッピーからの読み出しやフロッピーへの書き込み（保存）を行っている最中に取り出そうとすると、フロッピーそのものやフロッピーに保存されているデータを破損することがあります。

Microsoft Windowsを終了する前に、ドライブからフロッピーを取り出すことをお勧めします。コンピュータの電源を入れるときに、起動用のファイルが入っていないフロッピーがドライブにセットされたままになっていると、コンピュータは起動されません。

CDまたはDVDの使用

お買い上げいただいたコンピュータには、モデルにより、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-R/RW、またはCD-R/RW・DVD-ROMコンボ ドライブのいずれかのオプティカル ドライブ（光ドライブ）が装備されています。

- CD-ROMドライブでは、CDからデータを読み出したり音楽CDの音楽を再生したりできます。
- CD-R/RWドライブでは、CDにデータを書き込んだり、CDからデータを読み出したり、また音楽CDの音楽を再生したりできます。
- DVD-ROMドライブでは、CDやDVDからデータを読み出したり、音楽CDの音楽を再生したり、DVDムービーを再生したりできます。
- DVD-R/RWドライブでは、CDやDVDへのデータの読み書き、音楽CDやDVDムービーの再生、CDやDVDへの録画を行うことができます。

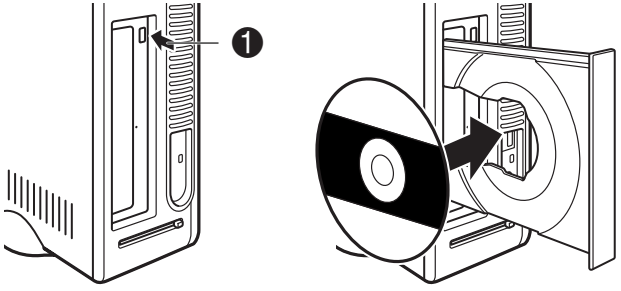
CD-R/RW・DVD-ROMコンボ ドライブは、CD-R/RWドライブおよびDVD-ROMドライブの両方の特徴を持っています。

次の手順で、ドライブにCDやDVDを出し入れします。

CDやDVDの出し入れをするには、コンピュータの電源を入れておく必要があります。

1. ロード/イジェクト ボタン❶を押してドライブを開きます。

ロード/イジェクト ボタンの位置はドライブの種類によって異なりますので、実物でご確認ください。



CDまたはDVDの挿入

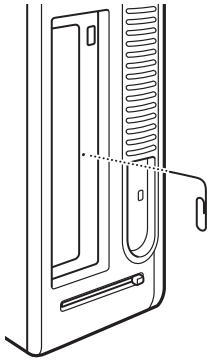
2. ディスクをケースから取り出します。ディスクの表面に触れないように、ディスクの縁と中央の穴を指ではさんで持ちます。
3. ディスクのラベル面（文字や絵が印刷されている面）を左側にして、ドライブ トレイの丸い部分に置きます。
4. ロード/イジェクト ボタンを押してドライブを閉じます。
5. ディスクを取り出すには、ロード/イジェクト ボタンを押してドライブを開きます。

ドライブから取り出したCDやDVDディスクは、保護用のケースに入れておくことをお勧めします。

ロード/イジェクト ボタンが機能しない場合

コンピュータ本体の電源が入らないなど何らかの理由でロード/イジェクト ボタンが機能しない場合にドライブ内のディスクを取り出すには、次の手順で操作します。

1. 大きめのペーパー クリップを伸ばして作った針金などの先を、ドライブの前面にある穴にゆっくりと押し込みます。



非常用取り出しホール

非常用取り出しホールは、モデルにより位置が異なっていることがあります。またドライブの種類やモデルによっては非常用取り出しホールがない場合もあります。

2. ドライブ トレイを手で引き出します。
3. ディスクを取り出してケースに収納します。
4. ドライブ トレイの前面パネルを押して、ドライブの中に押し戻します。

ソフトウェアのインストール

アプリケーションやユーティリティなどをインストールする場合は、それぞれのソフトウェアに付属の説明書をよくお読みになり、指示に従って操作してください。説明書は、CD-ROMやフロッピーディスクにテキスト ファイルなどの形で収められている場合もあります。

ソフトウェアは、CDやDVD、フロッピーなどからインストールしたり、インターネットのWebサイトからダウンロードしてインストールしたりできます。

ソフトウェアを選ぶ場合は、ソフトウエアのパッケージなどで、お使いのコンピュータにインストールされているMicrosoft Windowsオペレーティング システム、メモリ、およびプロセッサと互換性があること、およびハードディスク ドライブに必要な空き容量を確認してください。

会社のネットワークに接続してコンピュータをお使いになる場合は、ソフトウェアをインストールする前に、システム情報管理部門などネットワーク管理担当部署にお問い合わせになることをおすすめします。

コンピュータに付属のリストアCDを使用してハードディスク ドライブを工場出荷時の状態に戻した場合、Windowsオペレーティング システムの設定後に、アプリケーションやユーティリティをもう一度インストールする必要があります。ソフトウェアのセットアップ用のCDやDVD、フロッピーは大切に保管してください。

CD、DVD、またはフロッピーからのインストール

ドライブにインストール用のCDやDVDを挿入すると、ソフトウェアのインストールが自動的に始まります。インストールが自動的に始まらない場合は、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。

ソフトウェアにインストールに関する説明書がない場合は、次の手順でCD、DVD、またはフロッピーからソフトウェアをインストールしてください。

次の手順は一般的な方法です。この手順でもうまくインストールできない場合は、ソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。

Windows 2000をお使いの場合

1. 開いているプログラムをすべて閉じます。
2. Windowsのデスクトップから**[スタート]**ボタンをクリックし、**[設定]**→**[コントロール パネル]**の順にクリックします。
3. **[アプリケーションの追加と削除]**アイコンをダブルクリックします。**[アプリケーションの追加と削除]**ウィンドウが表示されます。
4. **[プログラムの追加]**をクリックします。
5. **[CDまたはフロッピー]**ボタンをクリックします。
6. CD や DVD またはフロッピーをドライブに挿入して、**[次へ]** をクリックします。Microsoft Windowsにより、インストールが開始されます。

Windows XPをお使いの場合

1. 開いているプログラムをすべて閉じます。
2. Windowsのデスクトップから**[スタート]**ボタンをクリックし、**[コントロール パネル]**をクリックします。
3. **[プログラムの追加と削除]**アイコンをダブルクリックします。**[プログラムの追加と削除]**ウィンドウが表示されます。
4. **[プログラムの追加]**をクリックします。
5. **[CDまたはフロッピー]**ボタンをクリックします。
6. CD や DVD またはフロッピーをドライブに挿入して、**[次へ]** をクリックします。Microsoft Windowsにより、インストールが開始されます。

インターネット経由でのインストール

インターネットのWebサイトからソフトウェアをダウンロードする場合は、通常そのサイトに表示されるインストール手順を参照してください。インストール手順が表示されない場合は、次の手順でインストールしてください。

注意：インターネットのWebサイトから各種のファイルをダウンロードする際に電話回線経由で接続している場合は、キャッチホンの設定を無効にしてください。また、どのような場合でも、ウィルス対策プログラムが稼動させておくことをお勧めします。インターネットからのダウンロードが中断された場合は、最初からダウンロードをしなおす必要があります。

次の手順は一般的な方法です。この手順でもうまくインストールできない場合は、ソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。

1. ダウンロードを始める前に、ハードディスク ドライブのどこにファイルが保存されるかを確認してください。また、ハードディスク ドライブに十分な空き容量があることも併せて確認してください。
2. ダウンロードが完了したら、インターネットへの接続を終了します。
3. 開いているプログラムがあればすべて閉じます。
4. Windowsのデスクトップから、Windows 2000をお使いの場合は**[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**の順にクリックします。Windows XPをお使いの場合は、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**の順にクリックします。
5. Windows 2000の場合：**[アプリケーションの追加と削除]**アイコンをダブルクリックします。**[アプリケーションの追加と削除]**ウィンドウが表示されます。
   Windows XPの場合：**[プログラムの追加と削除]**アイコンをダブルクリックします。**[プログラムの追加と削除]**ウィンドウが表示されます。
6. **[プログラムの追加]**をクリックします。
7. **[CDまたはフロッピー]**ボタンをクリックします。
8. **[次へ]**をクリックします。
9. [参照]ボタンをクリックします。
10. 手順1で確認した、ダウンロードしたファイルが保存してあるハードディスク ドライブのフォルダから**Setup.exe**または**Install.exe**という名前のファイルを探して選択します。
11. **[開く]**をクリックすると、インストールが開始されます。

各種設定の変更方法

画面のデザインや各種設定を変更するには、Windowsの**[コントロール パネル]**を使用します。**[コントロール パネル]**で設定できる内容や操作方法について詳しくは、Windowsの説明書やオンライン ヘルプを参照してください。

第 4 章
コンピュータの内部コンポーネント

コンピュータの内部コンポーネントへのアクセス

この章では、コンピュータの内部コンポーネントへのアクセス方法について説明します。

注意：コンピュータが正しく設定されないことがありますので、内部コンポーネントを追加する場合は、コンピュータを購入後、最初に電源を入れた際の初期設定が終了してから作業を行ってください。

コンピュータの内部コンポーネントのアップグレードや交換について詳しくは、コンピュータに付属のドキュメンテーション ライブラリCDに収録されている『ハードウェア リファレンス ガイド』を参照してください。アップグレードを行う前に、『ハードウェア リファレンス ガイド』の必要な箇所を印刷しておくことをお勧めします。

ドキュメンテーション ライブラリCDの参照方法については、この説明書の第5章をご覧ください。

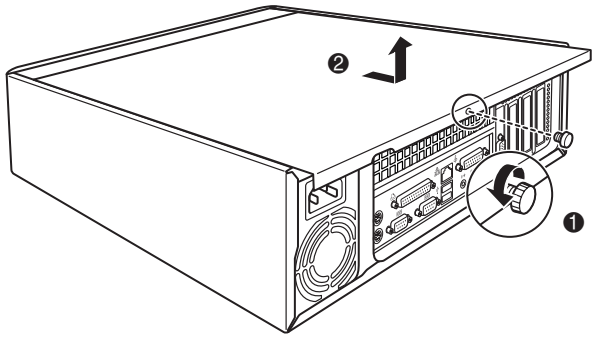
お買い上げいただいたコンピュータの内部コンポーネントにアクセスするには、次の手順で作業を行ってください。

注意：静電気の放電により、コンピュータやオプション装置の電子機器が損傷する場合があります。以下の作業を行う前に、アースされた金属面に触れるなどして身体にたまった静電気を放電してください。

1. コンピュータにフロッピー、CD、DVDなどのリムーバブル メディアが挿入されている場合は、すべて取り出します
2. Windowsの標準の手順でコンピュータの電源を切ります。
3. 電源コードをコンセントから抜き、コンピュータからも取り外します。

警告：感電や過熱した内部部品による火傷を防ぐため、必ず、電源コードをコンセントから抜き、内部のシステム コンポーネントの温度が下がるまでお待ちください。コンピュータの電源が切れていても、電源コードがコンセントに接続されていると微弱な電流が流れています。

4. すべての外部装置のケーブル類をコンピュータから取り外します。
5. アクセス パネルが上になるようにコンピュータを横置きにします。
6. アクセス パネルをコンピュータのシャーシに固定しているネジをゆるめます❶。アクセス パネルをコンピュータの背面方向に約3 cm程ずらしてから上に持ち上げます❷。



アクセス パネルの取り外し

コンピュータのメモリのアップグレード

メモリ モジュールを交換したり追加したりするには、次の手順で操作してください。

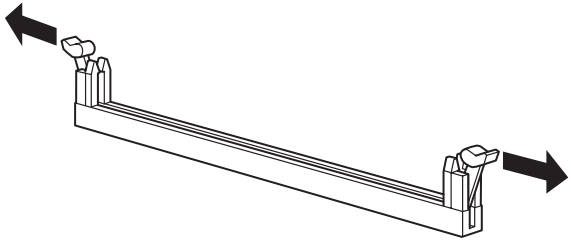
注意 : モジュールを破損する可能性がありますので、メモリ モジュールを取り扱う場合は、接点に触れないように注意してください。

コンピュータのメモリをアップグレードしたり追加したりする場合は、最初にコンピュータに取り付けられていたメモリと同じ種類で同じスピードのモジュールを使用してください。

1. 「コンピュータの内部コンポーネントへのアクセス」の手順に従って、アクセス パネルを取り外します。
2. 作業がしやすくなるように、ドライブ ケージを少し背面方向に動かしてから、前面部分を軸にして回転させるようにして起こします。

注意 : ドライブに接続されている各種ケーブルを引っ張り過ぎないように気をつけてください。

3. メモリ モジュール ソケットの両端を開きます❶。

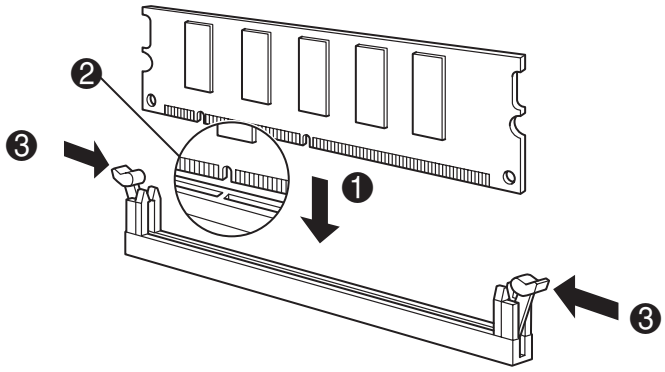


メモリ モジュール ソケットの両端のラッチを開く

メモリ モジュールを交換する場合は、元のメモリを取り外し、取り外したメモリが装着されていたソケットに新しいメモリを装着してください。

メモリ モジュールを追加する場合は、あらかじめ装着されていたメモリ モジュールに近いソケットから順番に、ソケットの番号に従って装着してください。

4. メモリ モジュール❶をメモリ スロットに合わせます。メモリ モジュールを装着できる向きは決まっていますので、メモリ モジュールの切れ込みの位置と、スロットの突起の位置を確認してください❷。モジュールを丁寧にしっかりとスロットに差し込みます。モジュールが正しい位置に固定されると、スロットの両端のラッチが装着位置に戻ります❸。



メモリ モジュールの装着

5. ドライブ ケージを元の位置に戻します。

注意: ドライブに接続されているケーブル類を、ドライブ ケージとシャーシの間にはさまないように注意してください。

6. コンピュータを元通りに組み立てて電源を入れます。

メモリ モジュールを交換したり追加したりした後、コンピュータの電源を入れても画面に何も表示されない場合は、メモリ モジュールが正しく装着されていないか、間違った種類のメモリ モジュールが装着されている可能性があります。正しいモジュールが正しく装着されているか確認してください。

第 5 章

情報の参照先、トラブルシューティングおよびサポート

情報の参照先

コンパックでは、印刷物以外にも、お買い上げいただいたコンピュータに関する情報をさまざまな形で提供しています。ここでは、それらの情報の参照先および参照方法について説明します。

ドキュメンテーション ライブラリCDの使い方

コンピュータに付属のドキュメンテーション ライブラリCDには、コンピュータのアップグレード方法などについてさらに詳しく説明している『ハードウェア リファレンス ガイド』やより多くの事例について説明している『トラブルシューティング ガイド』などが収録されています。

ドキュメンテーション ライブラリCDに収録されている説明書を参照するには、次の方法で操作してください。

1. ドキュメンテーション ライブラリCDをコンピュータのオプティカル ドライブに挿入します。CDに収録されている説明書の一覧が自動的に表示されます。

一覧が自動的に表示されない場合は、**[スタート]→[ファイル名を指定して実行]**の順にクリックし、「**X:¥compaqdesktop.exe**」（Xはオプティカル ドライブのドライブ名）と入力してから**[OK]**をクリックします。

2. 参照したい説明書の名前をクリックします。

PDF形式のファイルを開いたり印刷したりするには、Adobe Acrobat Readerをインストールする必要があります。コンピュータにAcrobat Readerがインストールされていない場合は、インストール画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

インターネットのWebサイト

コンパックでは、下記のインターネットのWebサイト（日本語サイト）で、各種の情報を提供しております。

http://www.compaq.co.jp/

- 最初の画面には「新着情報」へのリンクや、情報をまとめて表した項目名などが掲載されています。ご覧になりたい項目にマウス ポインタを合わせ、ポインタが指の形に変わったらクリックしてください。
- 最初の画面で参照したい項目が見つからなかった場合は、「サイトマップ」や「検索」機能をご利用ください。「サイトマップ」では、コンパックのインターネットWebサイトに掲載してある情報の一覧を箇条書きで表示します。ある言葉（検索文字列）を指定して関連情報を調べる場合は、「検索」機能をお使いください。

Webサイトのデザインは予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

コンパックサポート情報

コンパックが提供するサポートサービスや製品についての技術的な情報をご覧になれます。まず、ここから該当する製品を選択してください。

http://www.compaq.co.jp/support/

よくある質問を探す

■ よくある質問

お客様からよくお寄せいただくご質問とそのご質問に対する回答をまとめています。症状や目的で検索したり、画面の説明に沿って検索したりできます。

■ 困ったときにお読みください

米国コンパック本社の Web サイトに掲載されている「Customer Advisory」から抜粋して日本語訳した「困った時にお読みください」を公開しています。

ダウンロード

コンパック製コンピュータをサポートするドライバなどの各種ソフトウェアを提供しています。コンピュータの機種とお使いのオペレーティング システムを選択すると、ソフトウェアの一覧が表示されます。

お使いのコンピュータをサポートするドライバやユーティリティは、常に最新版をお使いになることをおすすめします。

製品カタログ（カタログライブラリ）

コンパック製品のカタログをPDF形式のファイルとしてダウンロードできます。下記のサイトからご覧になりたい製品を選択してください。

http://www.compaq.co.jp/products/catalog/

トラブルシューティング

ここでは、コンピュータをトラブルから守るためのヒントや問題が発生したときに最初にご確認いただきたい項目を説明しています。サポート窓口にお問い合わせになる前にご一読ください。

なお、コンピュータに付属のドキュメンテーション ライブラリCDにはさらに多くの事象を記載した『トラブルシューティング ガイド』を収録しています。こちらもご覧ください。

コンピュータをトラブルから守るためのヒント

コンピュータのトラブルは、ハードウェアに原因がある場合、ソフトウェアに原因がある場合、またその両方の場合など、さまざまなケースが考えられます。

ハードウェアのトラブルを防ぐためには、コンピュータ内部への通気を確保できるように設置する、強い磁気を発生する装置の近くでは使用しない、など使用上の注意点がいくつかあります。コンピュータに付属の小冊子『快適に使用していただくために』には、この注意点について詳しい説明が記載されています。コンピュータをよりよい状態で長くお使いになるために、ぜひお読みください。

ソフトウェアのトラブルを防ぐためには、ソフトウェアに付属の説明書をよくお読みください。また、必要に応じて、市販のツールなどを活用してください。

日常の操作では、次のような点にご注意いただくとより安定した状態でコンピュータをお使いいただけます。

ディスクのチェック

Windows 2000およびWindows XPには、ファイルやフォルダのエラーを発見し修復するためのツールが装備されています。ハードディスクに対して定期的にこのツールを実行することにより、エラーをより早く軽微な段階で発見して対処することが可能です。

- Windows 2000をお使いの場合にハードディスクのチェックを行うには、**[マイ コンピュータ]**をダブルクリックして開き、目的のドライブをクリックして選択してから、**[ファイル]**メニュー→**[プロパティ]**→**[ツール]**タブの順に選択して**[エラー チェック]**の欄で**[チェックする]**ボタンをクリックします。
- Windows XPをお使いの場合にハードディスクのチェックを行うには、**[スタート]**メニューから**[マイ コンピュータ]**をクリックして開き、目的のドライブをクリックして選択してから、**[ファイル]**メニュー→**[プロパティ]**→**[ツール]**タブの順に選択して**[エラー チェック]**の欄で**[チェックする]**ボタンをクリックします。

ディスク チェック用のツールについて詳しくは、Windowsのオンライン ヘルプを参照してください。

5

Compaq Diagnosticsユーティリティ

Compaq Diagnosticsユーティリティは、システムに装着されているドライブなどの装置を検査したり診断したりするためのソフトウェアです。テクニカル サポートにお問い合わせいただく場合、このユーティリティの実行結果を事前にご準備いただくと、問題をより迅速に解決できることがあります。

Compaq Diagnosticsユーティリティの起動

- Windows 2000 をお使いの場合は**[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**→[Compaq Diagnostics]アイコンの順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合は**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→[Compaq Diagnostics]アイコンの順に選択します。

Compaq Diagnosticsユーティリティの操作

Compaq Diagnosticsユーティリティを起動すると、お使いのシステムのハードウェアおよびソフトウェアの概要が表示されます。

■ ある特定のハードウェアまたはソフトウェアに関する情報を調べる場合は、**[カテゴリ]**メニューまたはツール バーから、目的のカテゴリを選択します。

バーのアイコン上にポインタを合わせると、そのアイコンのカテゴリ名が表示されます。

❑ 選択したカテゴリに関して、さらに詳しい情報を調べる場合は、**[レベル]**ボックスの**[詳細]**をクリックします。

サポートにお問い合わせになる場合は、表示された情報を印刷しておいてください。

■ 表示されている情報を印刷する場合は、**[ファイル]**メニューから**[印刷]**を選択した後、**[現在のカテゴリ]**を選択し、[OK]をクリックします。

■ すべての情報を印刷する場合は、**[ファイル]**メニューから**[印刷]**を選択した後、**[詳細情報レポート（全カテゴリ）]**または**[基本情報レポート（全カテゴリ）]**を選択し、[OK]をクリックします。

Compaq Diagnosticsユーティリティの終了

[ファイル]メニューから**[終了]**を選択してCompaq Diagnostics ユーティリティを終了します。

テスト（Compaq Diagnosticsユーティリティ）の実行

Compaq Diagnostics ユーティリティの診断ユーティリティを実行するには、次の手順で操作します。

1. “Compaq Diagnosticsユーティリティの起動”に記載してある手順に従ってCompaq Diagnosticsユーティリティを起動します。
   お使いのコンピュータにプリインストールされているCompaq Diagnosticsユーティリティに診断ユーティリティが含まれている場合、**[概要]**タブ、**[テスト]**タブ、**[ステータス]**タブ、**[ログ]**タブ、**[エラー]**タブが表示されます。
2. **[テスト]**タブを選択します。

3. テスト タイプの次の3 つのオプションから1 つを選択します。
   - ❑ クイック テスト—システムを構成している各装置をすばやくテストするので、システム全体を簡単にテストできます。
   - ❑ 完全テスト—各装置の詳細テストを実行します。
   - ❑ カスタム テスト—選択された装置だけをテストします。各装置の一覧が表示されるので、テストしたい装置のチェックボックスをクリックすると、赤いチェックマークが付きます。選択しなおしたい場合は、再度クリックします。
4. テストモードから**[対話形式]**または**[自動実行]**モードを選択します。

[対話形式]を選択すると、Compaq Diagnostics ユーティリティがテストを行っているあいだ、必要に応じてダイアログボックスが表示されるので、メッセージに従って入力します。**[自動実行]**が選択された場合でも、エラーなどが検出されると、途中でテストが中断され、ダイアログボックスが表示されることがあります。

5. **[テスト開始]**ボタンを選択します。
   テストの進み具合とテスト結果が表示されます。
6. エラーとなった場合、**[エラー]**タブを選択すると、エラーの原因と処置方法が表示されます。
7. **[印刷]**または**[保存]**をクリックしてエラーの状況を保存しておいてください。コンパックのサポート窓口に連絡する際に、必要となることがあります。
8. **[ファイル]**→**[終了]**の順に選択して、Compaq Diagnosticsユーティリティを終了します。

コンピュータ ウィルス対策

コンピュータ ウィルスに侵入されると、大切なファイルだけではなく時にはハードウェアまで破壊されてしまうこともあります。コンピュータをネットワークに接続して使用している場合は、ネットワーク上の他のコンピュータのデータを破壊することもあります。

ウィルスの被害からコンピュータを守るには、日常のデータ セキュリティ管理が欠かせません。まず、以下のような項目をチェックしてみてください。

■ コンピュータ ウィルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータ ウィルスは刻々とその形態を変化させます。対策用ソフトウェアをインストールしたら、ソフトウェアの製造販売元の提供する「パターン ファイル」と呼ばれるウィルス認識用のファイルを定期的にアップデートすることも忘れないでください。

■ 出所が不明なファイルは絶対に開いたり使用したりしない

知らない人や知らない会社から届いた電子メールにファイルが添付されていた場合、そのファイルは開かずメール自体をすぐに削除することをおすすめします。もらう覚えのないファイルが添付されていたり、メールの差出人を知っていてもメールの内容に疑問を感じたりした場合は、添付ファイルを開く前に確認したほうが安全です。その添付ファイルが悪質なウィルスだった場合、お使いのコンピュータに不具合を引き起こすだけでなく、感染したコンピュータの電子メール用アドレス帳を勝手に使用して多くの人にウィルスをばらまき、自分が感染源になってしまうこともあります。

電子メールだけでなく、フロッピーディスクなどでやり取りするデータがウィルスに汚染されていることもあります。外部から持ち込んだデータは、自分のコンピュータで使用する前にこまめにチェックすることをおすすめします。

データのバックアップ

データのバックアップをとることにより、万が一ファイルが壊れたりした場合でも、被害を最小限に食い止めることができます。作業の区切り、1日の終わり、1週間の終わりなど、必要に応じてバックアップをとることをおすすめします。

また、ワープロや表計算などのアプリケーションを使用してファイルを作成している場合は、アプリケーションの自動バックアップ機能を使用したり、手動でこまめに保存したりすることも大切です。何らかの原因でコンピュータへの電源供給が停止してしまった場合でも、保存しておいたファイルはハードディスクなど保存した場所に残っています。

チェックリスト

コンピュータに問題が発生した場合は、以下の点をまず確認してください。

- コンピュータ本体とモニタの電源コードが、ACコンセントに正しく差し込まれていますか。
- コンピュータ本体の電源が入っていて、電源ランプが点灯していますか。
- モニタの電源が入っていて、電源ランプが点灯していますか。
- モニタ画面の表示がぼやけているときには、モニタの調節つまみで輝度とコントラストを調整してください。
- 何かキーを押し続けるとビープ音がなりますか。ビープ音がなる場合は、キーボードは正しく機能しています。
- すべてのケーブルを正しく接続していますか。ゆるんでいたり、間違ったコネクタに接続したりしていませんか。
- プラグ アンド プレイに対応していない拡張ボードやオプションを取り付けた後にコンピュータを再設定しましたか。
- 必要なデバイス ドライバが正しくインストールされていますか（プリンタを使用する場合は、プリンタ ドライバが必要です）。
- フロッピーディスク ドライブからフロッピーディスクをすべて取り出してから、本体の電源を入れましたか。

状態別チェック項目

次に、コンピュータの状態別に確認する項目を説明します。

コンピュータに付属のドキュメンテーション ライブラリ CDに収録されている『トラブルシューティング ガイド』もご覧ください。

状態：コンピュータの電源が入らない

原因 / 確認項目

■ コンピュータの電源ランプが点灯している場合：コンピュータとモニタを接続しているモニタ ケーブルが抜けていないか、モニタの電源コードが接続されているか、モニタの電源が入っているかを確認してください。

注意：電源ランプが数秒ごとに違う色で点滅している場合は電源装置の故障が考えられます。電源コードをコンセントから抜いてサポート窓口にお問い合わせください。

■ コンピュータの電源ランプが点灯していない場合：

- ❑ コンピュータの電源コードが正しく接続されているか確認してください。電源コードを壁面のコンセントではなくテーブル タップに接続している場合は、テーブル タップにスイッチがついていることもあります。
- ❑ 直前に拡張ボードを取り付けた場合は、拡張ボードが正しく取り付けられていないか、拡張ボードに欠陥がある可能性が考えられます。拡張ボードを取り付けなおし、もう一度電源を入れてみてください。

状態：コンピュータの電源が勝手に切れてしまう

原因 / 確認項目

■ 誤って電源コードを抜いてしまったり、停電などによって送電が止まったために電源が切れることがあります。

- ❑ 電源コードは引っかかったり椅子の脚等で踏んでしまったりしないように配線してください。電源コードの接続を確認してから電源を入れなおします。
- ❑ 停電の場合は、送電が確認できるまでコンピュータの電源コードを抜いておいてください。通電後、電源コードを接続して電源を入れなおします。

■ コンピュータの内部温度が正常動作範囲を超えてしまったことが考えられます。

- ❑ コンピュータの通気孔がふさがれていないか確認してください。障害物がある場合は取り除き、コンピュータの温度が下がるまで待ってから電源を入れなおしてください。
- ❑ コンピュータ内部のファンが回っているか確認してください。ファンが動作していない場合は、サポート窓口にお問い合わせください。
- ❑ コンピュータ本体のアクセス パネルを取り外した状態のままコンピュータを使用していると、内部部品の温度が上がりすぎることがあります。コンピュータの温度が下がるまで待ってからアクセス パネルを取り付けて、電源を入れなおしてください。

状態：コンピュータが断続的に停止する

原因 / 確認項目

ネットワーク ドライバがロードされていてもネットワークに接続していないと、コンピュータが断続的に停止することがあります。ネットワークに接続するか、**[コントロール パネル]**の**[ネットワークとダイヤルアップ接続]**（Windows 2000の場合）または**[ネットワークとインターネット接続]**（Windows XPの場合）でネットワーク コントローラを無効にしてください。

状態：Windowsが終了できない/コンピュータの電源が切れない

原因 / 確認項目

Windowsが通常の方法で終了できないためにコンピュータの電源が切れない場合は、次の方法を試してみてください。

- キーボードの[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを同時に押します。
  - Windows 2000の場合 : [Windowsのセキュリティ]ウィンドウが表示されます。**[シャットダウン]**ボタンをクリックし、ドロップダウン リストから**[シャットダウン]**を選択して[OK]をクリックします。
  - Windows XPの場合：[Windows**タスク マネージャ**]ウィンドウが表示されます。**[シャットダウン]**メニューをクリックし、**[コンピュータの電源を切る]**をクリックします。
- [Ctrl] ＋ [Alt] ＋ [Delete] キーを押す上記の方法でも電源が切れない場合は、コンピュータの電源ボタンを、電源ランプが消えるまで4秒以上押しつづけます。
- 上記2つの方法でも電源が切れない場合は、コンピュータから電源コードを抜いてください。

電源を切った後コンピュータの電源を入れなおす場合は、少なくとも10秒以上待ってください。

Windowsが通常の方法で終了されなかった場合、次回コンピュータの電源を入れたときに、スキャンディスクが実行されます。スキャンディスクの結果ハードディスク ドライブにエラーが発見されない場合は、そのままWindowsの起動が続行されます。エラーが発見された場合は、画面にメッセージが表示されますのでその指示に従って操作してください。

状態：モニタに何も表示されない

原因 / 確認項目

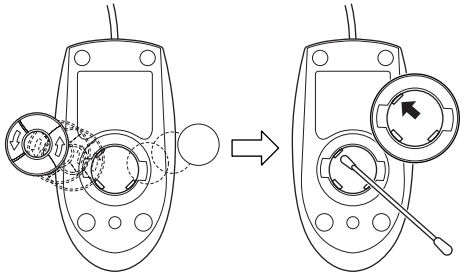
- モニタの電源コードがモニタとコンセントに正しく接続されているか確認してください。
- モニタ ケーブルがコンピュータの適切なコネクタに接続されているか確認してください。
- モニタの明るさ（輝度）を調整してください。
- モニタが省電力モードに入っていることが考えられます。マウスを動かしてみてください。

モニタの操作方法について詳しくは、モニタに付属の説明書を参照してください。

状態：マウスやキーボードが動かない

原因 / 確認項目

- ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- マウスのローラー ボールが汚れている可能性があります。マウスを裏返し、ローラー ボールのカバーを外してほこりやごみを取り除いてください。



状態：その他の周辺機器が動かない

原因 / 確認事項

- 周辺機器およびコンピュータの電源をいったん切って、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。周辺機器に電源ボタンがある場合は、周辺機器の電源を入れてから、コンピュータ本体の電源を入れます。
- 周辺機器の種類によっては、専用のデバイス ドライバをインストールする必要があるものもあります。周辺機器に付属の説明書を参照してドライバをインストールしてください。

コンパックのサポート窓口

コンパックのサポート窓口の電話番号や受付時間については、製品に同梱されている『サービスおよびサポートを受けるには（保証規定）』をご覧ください。

お問い合わせになる前に

コンピュータ本体に関する情報を事前にお手元にご用意いただくと、サポートにお問い合せいただく際に、より早く問題が解決できることがあります。このガイドの最後に記入欄を設けましたのでご利用ください。ただし、実際に問題が発生してしまうと確認が困難になることも考えられますので、なるべく早い時期に確認しておくことをおすすめします。

また、その際、トラブルが発生してから、解決のためにお客様がお試しになった操作などがあれば併せてお知らせください。

例：コンピュータの電源を切り、電源を入れなおしてからもう一度操作してみた。
　　コンパック純正品以外の周辺機器（メモリ等）を全部取り外した。

コンピュータが動作している場合は、Compaq Diagnosticsユーティリティのテストを実行してその結果もお知らせください。Compaq Diagnosticsユーティリティの実行方法については、この章の“Compaq Diagnosticsユーティリティ ”の項目を参照してください。

コンピュータの保守や修理をご依頼になる場合、可能であれば事前に各種パスワードを消去しておいてください。

索引

C

[Caps Lock] ランプ 9
CD 36
　ドキュメンテーション ライブラリ 45
　リストア 34
CD-ROM ドライブ 3
CD-R/RW・DVD-ROM コンボ ドライブ 3
CD-R/RW ドライブ 3
Compaq Diagnostics ユーティリティ 49

D

DVD 36
DVD-ROM ドライブ 3

F

FDD
　→「フロッピーディスク ドライブ」を参照

H

HDD
　→「ハードディスク ドライブ」を参照

I

IEEE 1394 コネクタ 3, 5

N

[Num Lock] ランプ 9

P

PC カード スロット 3
PC カード取り出しボタン 3
PS/2 キーボード コネクタ 5
PS/2 マウス コネクタ 5

R

RJ45 LAN ケーブル コネクタ 5

S

[Scroll Lock] ランプ 9

U

USB ポート 5

V

VGA ポート 5

W

Web サイト、コンパック 46
Windows の終了 31

あ

アクセス パネル 42
脚（キーボード） 11
イージー アクセス ボタン 10
インストール
　ソフトウェア 29, 38
　ドライバ 24
インターネット、コンパック 46
オプティカル ドライブ 3, 36
オペレーティング システム
　初回の設定 18
　表記方法 v

か

拡張スロット
　カバー 5
各部名称 1
　キーボード 8
　前面 2
　背面 4
カタログ 47
キー（キーボード）
　表記方法 iv
　名称 8
キーボード 8
　PS/2 コネクタ 5
　脚 11
記入欄 1
強制終了 33

警告
感電の防止 vi, 42
作業環境を整える 11
表記方法 iv
火傷の防止 42
ゲーム ポート 5
コネクタ
→「ポート」も参照
IEEE 1394 3, 5
PS/2 キーボード 5
PS/2 マウス 5
RJ45 LAN ケーブル 5
ステレオ ラインアウト 5
ステレオ ラインイン 5
電源 5
モノラル マイク 5
コマンド（画面上）, 表記方法 iv
コンピュータ
基本情報の記入欄 1
強制終了する 33
再起動 32
設置場所 vi
手入れ vi
電源を入れる 31
電源を切る 31
取り扱い上の注意 vi
内部コンポーネントへのアクセス 41
ハードディスク ドライブの内容の復元 34
メモリのアップグレード 43
問題が発生した場合 48
コンピュータ ウィルス対策 51

さ

再起動
コンピュータ 32
サポート情報 47
サポート窓口 58
周辺機器
接続および設定 24
終了
Windows 31
強制 33
情報の参照先 45
シリアル ポート 5
ステレオ ラインアウト コネクタ 5
ステレオ ラインイン コネクタ 5
スロット
PC カード 3
メモリ 44
説明書 iii, 45
前面の各部 2
ソフトウェア
インストール 29, 38

た

注意
インターネットからのダウンロード時 39
強制終了 33
コンピュータの初期設定時 16, 19
コンピュータの手入れ vi
初回の電源投入時 15
静電気対策 41
電源コードの配線 15
電源切断時 32
電源ランプの点滅 54
ドライバのインストール 24
ドライブ ケーブル 43, 44
内部コンポーネントの追加 41
表記方法 iv
フロッピーの取り出し 35
メモリの取り扱い 43
雷雨の時 33
リストア CD の使用 34
チルト脚 11
通気孔 3
ディスケット
→「フロッピー」を参照
ディスケット ドライブ
→「フロッピーディスク ドライブ」を参照
ディスプレイ コネクタ
→「VGA ポート」を参照
電源コネクタ 5
電源切断 31
電源装置用ファン 5
電源投入 31
順序 17
通常の操作 16
初回の操作 15
電源ボタン 3, 16
電源ランプ 3, 16
ドキュメンテーション ライブラリ CD 45

ドライブ
CD-ROM 3
CD-R/RW 3
CD-R/RW・DVD-ROM コンボ 3
DVD-ROM 3
オプティカル 3, 36
フロッピーディスク 3
トラブルシューティング 48
お問い合わせになる前に 58
トラブル サポート シート 1

な

内部コンポーネント 41
日本語入力のヒント 12
入力文字の表記方法 iv
ネットワーク コネクタ 5

は

ハードディスク ドライブ
内容の復元 34
ハードディスク ドライブ アクセス ランプ 3, 16
パスの表記方法 iv
パラレル ポート 5
ヒント
コンピュータをトラブルから守る 48
日本語入力 12
フロッピー 35
フロッピーディスク ドライブ 3
取り出しボタン 3
ランプ 3
ポート
→「コネクタ」も参照
USB 5
VGA 5
ゲーム 5
シリアル 5
パラレル 5
補足説明 , 表記方法 iv
ボタン
PC カード取り出し 3
イージー アクセス 10
電源 3
フロッピーディスク取り出し 3
ロード / イジェクト 36
ボタン（画面上）
表記方法 iv

ま

マイク コネクタ 5
マウス 6
PS/2 コネクタ 5
操作を表す用語 7
メニュー（画面上）, 表記方法 iv
メモリ
アップグレード 43
モノラル マイク コネクタ 5
問題の解決方法 48

ら

ライブラリ CD の使い方 45
ラインアウト コネクタ 5
ラインイン コネクタ 5
ランプ
[Caps Lock] 9
[Num Lock] 9
[Scroll Lock] 9
電源 3
ハードディスク ドライブ アクセス 3
フロッピーディスク ドライブ 3
リストア CD 34
ロード / イジェクト ボタン 36

システムの構成

項目	お客様のシステム
機種名*	Evo Desktop D300 ST
製品番号*	例：123456-123
シリアル ナンバー（S/N）*	例：7777ABCD1234
購入年月日*	
購入店名*/購入方法	
ハードウェア構成	
メモリ容量	合計　　MB（そのうち増設分　　MB）
ハードディスク容量	GB
モニタ	メーカー名：　　製品名：
モニタシリアルナンバー（S/N）	
プリンタ	メーカー名：　　製品名：
その他の周辺機器	□スキャナ　□デジタルカメラ　□TA（ターミナル アダプタ）
	□MOドライブ　□PCカード　□その他（　　）
ソフトウェア構成	
オペレーティング システム	
アプリケーション ソフトウェア	

*の内容は「保証書（Warranty Card）」に記載されています。「保証書（Warranty Card）」は、外箱の側面に貼付されている「重要書類在中」と書かれた袋の中に入っています。袋から取り出して記載内容をご確認ください。

トラブルの発生状況

トラブルが発生した状況をできるだけ詳しくお知らせください。

再現性が	ある（何度もトラブルが発生する）	ない（1度だけトラブルが発生した）
エラーが発生したタイミング		
コンピュータを起動するたびに	エラーが表示される 内容：	その他
アプリケーションでの作業時に	エラーが表示される 内容：	コンピュータが動作しなくなる
特定の操作を行うと	エラーが表示される 内容：	コンピュータが動作しなくなる
前に行った作業は	ハードウェアを増設した 種類：	ソフトウェアをインストールした 種類：

www.compaq.co.jp

274079-191